

名古屋市観光客・宿泊動向調査

(平成28年度)

平成30年1月

名古屋市観光文化交流局

目 次

1. 観光統計について.....	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用.....	1
(2) 入込客数	1
2. 調査の集計結果.....	9
2-1 観光客の現状.....	9
(1) 調査の概要.....	9
(2) 調査結果	11
2-2 宿泊施設調査.....	33
(1) 調査の概要.....	33
(2) 宿泊施設の現状.....	34
(3) 宿泊客数	37
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価	49
(1) 調査の概要.....	49
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	50
(3) 名古屋に対する評価	53
(4) 観光振興について	57
3. 資料編.....	58
(1) 主要観光施設への入込動向	58
(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）	62

●調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間の入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成28年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施設の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、「行・祭事」「イベント」「スポーツ」「音楽・演劇等」の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成28年度については全国観光統計基準に適合する83地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。平成28年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約7,044万人で前年度比約200万人（2.9%）増加した。

9月の悪天候や12月から1月の高病原性鳥インフルエンザ発生による休園によって「東山動植物園」の入場者が減少したものの、6月に本丸御殿第2期公開を開始した「名古屋城」や、8月から10月のあいちトリエンナーレ2016の会場であった「名古屋市美術館」「愛知県美術館」が人気を博したことが増加の主な要因となっている。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

全国観光統計基準に基づく分類			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
大分類	中分類					
学ぶ （見る・体験する）	自然					
	文化・歴史	調査地点数	26	26	26	26
		入込客述べ人数	22,625,801	22,361,685	23,556,367	23,300,401
		対前年度比	5.3%	▲1.2%	5.3%	▲1.1%
	産業観光	調査地点数	6	6	6	6
		入込客述べ人数	2,155,078	2,175,112	2,274,288	2,149,817
		対前年度比	▲2.0%	0.9%	4.6%	▲5.5%
遊ぶ （楽しむ・リフレッシュ）	スポーツ・レクリエーション施設	調査地点数	16	16	16	15
		入込客述べ人数	11,502,060	11,412,265	12,059,196	13,263,867
		対前年度比	0.3%	▲0.8%	5.7%	10.0%
	温泉					
	買物					
触れ合う （交流する）	行・祭事	調査地点数	17	16	16	15
		入込客述べ人数	6,610,033	8,502,057	8,021,482	8,592,346
		対前年度比	▲16.0%	28.6%	▲5.7%	7.1%
	イベント	調査地点数	21	20	20	21
		入込客述べ人数	22,268,244	22,564,723	22,525,264	23,129,212
		対前年度比	93.8%	1.3%	▲0.2%	2.7%
計	調査地点数	86	84	84	83	
	入込客述べ人数	65,161,216	67,015,842	68,436,597	70,435,643	
	対前年度比	19.5%	2.8%	2.1%	2.9%	

注1：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

注2：対前年度比の▲はマイナス。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 28 年度の観光入込客実人数は 4,727 万人で、前年度比 396 万人増（9.1%増）となった。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光入込客延べ人数（人）	65,161,216 (19.5%)	67,015,842 (2.8%)	68,436,597 (2.1%)	70,435,643 (2.9%)
平均訪問観光地点数	1.82	1.69	1.58	1.49
観光入込客実人数（万人）	3,580 (2.5%)	3,965 (10.8%)	4,331 (9.2%)	4,727 (9.1%)

（カッコ内は前年度比増減率）

③居住地別観光入込客数の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、「名古屋市内客」「市外客」別の観光入込客実人数を推計した。居住地別の入込客実人数は、「名古屋市内客」が 1,711 万人で構成比 36.2%、「名古屋市外客」は 3,016 万人で構成比 63.8%だった。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	36.2%	63.8%
観光入込客実人数	4,727 万人 (9.1%)	1,711 万人 (15.5%)	3,016 万人 (5.8%)

（カッコ内は前年度比増減率）

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推計した。平成 28 年度の宿泊客実人数は 639 万人で前年度比 14 万人減（2.2%減）となった。この減少は全国的な傾向で、大型連休の日並び、台風などの悪天候が影響したものとみられる。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
延べ宿泊客数（人）	7,509,115 (8.0%)	7,523,002 (0.2%)	8,453,709 (12.4%)	8,409,011 (▲0.5%)
宿泊客実人数（人）	5,979,400 (3.2%)	5,855,719 (▲2.1%)	6,529,101 (11.5%)	6,387,047 (▲2.2%)
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.26	1.28	1.29	1.32

（カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス）

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査によって、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地を「名古屋市内」と「名古屋市外」に分けて宿泊客実人数を推計した。

平成 28 年度の宿泊客は「名古屋市外客」が 635 万人、「名古屋市内客」は 4 万人だった。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	0.6%	99.4%
宿泊客実人数	639 万人 (▲2.2%)	4 万人 (▲20.0%)	635 万人 (▲2.0%)

（カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス）

⑥ 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推計した。日帰り客実人数については、「名古屋市内客」が平成 27 年度に大きく減少していたが、平成 28 年度は 231 万人（15.7%）の増加となった。「名古屋市外客」は平成 27 年度に大きく増加し、平成 28 年度も 179 万人（8.1%）の増加となった。

一方、宿泊客実人数については、「名古屋市内客」は減少傾向にあり、「名古屋市外客」は平成 27 年度まで増加傾向にあったが、平成 28 年度は 13 万人（2.0%）減少した。この減少は全国的な傾向で、大型連休の日並び、台風などの悪天候が影響したものと思われる。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数推移

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
観光入込客 実人数	計	3,580 万人 (2.5%)	3,965 万人 (10.8%)	4,331 万人 (9.2%)	4,727 万人 (9.1%)
	市内客	1,450 万人 (26.1%)	2,109 万人 (45.4%)	1,481 万人 (▲29.8%)	1,711 万人 (15.5%)
	市外客	2,130 万人 (▲9.1%)	1,856 万人 (▲12.9%)	2,850 万人 (53.6%)	3,016 万人 (5.8%)
宿泊客実人数	計	598 万人 (3.1%)	586 万人 (▲2.0%)	653 万人 (11.4%)	639 万人 (▲ 2.1%)
	市内客	41 万人 (▲14.6%)	14 万人 (▲65.9%)	5 万人 (▲64.3%)	4 万人 (▲20.0%)
	市外客	557 万人 (4.7%)	572 万人 (2.7%)	648 万人 (13.3%)	635 万人 (▲2.0%)
日帰り客 実人数	計	2,982 万人 (2.3%)	3,379 万人 (13.3%)	3,678 万人 (8.8%)	4,088 万人 (11.1%)
	市内客	1,409 万人 (27.9%)	2,095 万人 (48.7%)	1,476 万人 (▲29.5%)	1,707 万人 (15.7%)
	市外客	1,573 万人 (▲13.2%)	1,284 万人 (▲18.4%)	2,202 万人 (71.5%)	2,381 万人 (8.1%)

（カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス）

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。その結果、平成 28 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,541 億円で、前年度比 259 億円減（6.8%減）となった。

宿泊客の総消費額は 1,567 億円で、前年度比 153 億円減（8.9%減）となった。

一方、日帰り客の総消費額は、名古屋市内客が 496 億円で、前年度比 22 億円増（4.6%増）、名古屋市外客は 1,478 億円で、前年度比 128 億円減（8.0%減）となった。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
宿泊客実人数		598 万人	586 万人	653 万人	639 万人
日帰り客実人数	市内客	1,409 万人	2,095 万人	1,476 万人	1,707 万人
	市外客	1,573 万人	1,284 万人	2,202 万人	2,381 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,620 円	26,422 円	26,353 円	24,530 円
日帰り客一人あたり消費額	市内客	3,534 円	3,527 円	3,215 円	2,905 円
	市外客	6,719 円	7,134 円	7,292 円	6,211 円
宿泊客総消費額		1,592 億円	1,549 億円	1,720 億円	1,567 億円
日帰り客総消費額	市内客	497 億円	739 億円	474 億円	496 億円
	市外客	1,057 億円	916 億円	1,606 億円	1,478 億円
名古屋市内観光総消費額		3,146 億円	3,204 億円	3,800 億円	3,541 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での旅行費用項目別の平均消費額を、宿泊客と名古屋市内・市外日帰り客別に設定し、名古屋市内での各項目別の消費額を推計した。

宿泊客の平均消費額は 24,530 円、市内日帰り客が 2,905 円、市外日帰り客は 6,211 円だった。

項目別平均消費額を、宿泊客数、市内日帰り客数、市外日帰り客数にそれぞれかけ合わせ、旅行費用項目別総消費額を推計した。その結果、平成 28 年度の観光総消費額は 3,541 億円で、前年度比 259 億円減（6.8%減）となった。項目別に見ても全ての項目で減少しており、減少率が大きかったのは、土産費消費額 127 億円減（14.1%減）と宿泊費消費額 61 億円減（10.4%減）だった。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
食事費消費額	864 億円	929 億円	1,096 億円	1,082 億円
交通費消費額	488 億円	453 億円	438 億円	435 億円
土産費消費額	586 億円	537 億円	900 億円	773 億円
宿泊費消費額	603 億円	512 億円	584 億円	523 億円
入場料消費額	346 億円	411 億円	363 億円	345 億円
その他消費額	259 億円	362 億円	419 億円	383 億円
観光総消費額	3,146 億円	3,204 億円	3,800 億円	3,541 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,491 円 (▲7.3%)	1,116 円 (▲4.5%)	1,999 円 (▲5.7%)
交通費	1,674 円 (▲11.3%)	451 円 (2.0%)	1,056 円 (▲6.9%)
土産費	5,154 円 (▲5.5%)	491 円 (▲34.5%)	1,512 円 (▲23.1%)
宿泊費	8,188 円 (▲8.5%)		
入場料	1,254 円 (▲5.7%)	370 円 (▲8.6%)	850 円 (▲13.5%)
その他	1,769 円 (2.0%)	477 円 (6.0%)	794 円 (▲27.1%)
合 計	24,530 円 (▲6.9%)	2,905 円 (▲9.6%)	6,211 円 (▲14.8%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費消費額	415 億円 (▲9.2%)	191 億円 (11.0%)	476 億円 (1.9%)	1,082 億円 (▲1.3%)
交通費消費額	107 億円 (▲13.0%)	77 億円 (18.5%)	251 億円 (0.4%)	435 億円 (▲0.7%)
土産費消費額	329 億円 (▲7.6%)	84 億円 (▲24.3%)	360 億円 (▲16.9%)	773 億円 (▲14.1%)
宿泊費消費額	523 億円 (▲10.4%)			523 億円 (▲10.4%)
入場料消費額	80 億円 (▲8.0%)	63 億円 (5.0%)	202 億円 (▲6.5%)	345 億円 (▲5.0%)
その他消費額	113 億円 (0.0%)	81 億円 (22.7%)	189 億円 (▲21.3%)	383 億円 (▲8.6%)
観光総消費額	1,567 億円 (▲8.9%)	496 億円 (4.6%)	1,478 億円 (▲8.0%)	3,541 億円 (▲6.8%)

(カッコ内は前年度比増減率 ▲はマイナス)

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、東山動植物園、熱田神宮、名古屋市科学館、名古屋港水族館、ノリタケの森）調査

- ・秋期調査：平成 28 年 11 月 2 日（水）9：30～16：30 天候：晴れ
11 月 5 日（土）9：30～16：30 天候：晴れ
11 月 6 日（日）9：30～16：30 天候：晴れ

※名古屋城と名古屋市科学館は、

- 11 月 2 日（水）9：30～16：30 天候：晴れ
11 月 12 日（土）9：30～16：30 天候：晴れ
11 月 13 日（日）9：30～16：30 天候：晴れ

- ・春期調査：平成 29 年 3 月 1 日（水）9：30～16：30 天候：曇り
3 月 4 日（土）9：30～16：30 天候：晴れ
3 月 5 日（日）9：30～16：30 天候：曇り

※熱田神宮は、3 月 4 日（土）9：30～16：30 天候：晴れ
3 月 5 日（日）9：30～16：30 天候：曇り
3 月 8 日（水）9：30～16：30 天候：晴れ

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及びサンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合計
	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	
名古屋城	103	101	102	104	105	104	619
東山動植物園	102	102	102	103	104	104	617
熱田神宮	100	103	102	104	100	103	612
名古屋市科学館	102	101	102	104	103	100	612
名古屋港水族館	102	103	101	101	104	103	614
ノリタケの森	101	103	103	101	102	101	611
全 体	610	613	612	617	618	615	3,685

（注）大分類「学ぶ・（みる・体験する）」・中分類「文化・歴史」では「名古屋城」「東山動植物園」「熱田神宮」「名古屋市科学館」「名古屋水族館」、同・中分類「産業観光」では「ノリタケの森」にご協力いただいた。

(2) 調査結果

①居住地構成、性別・年齢構成

a. 居住地構成

観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」の割合が36.2%と最も高く、「愛知県（名古屋市を除く）」「岐阜県・三重県・静岡県」を合計した「東海」が71.4%を占め、「関東」「近畿」など「東海」以外の地域からの入込客は全体で28.6%である。

観光地点別にみると、「東山動植物園」の入込客では「名古屋市」居住者の構成比が53.5%と高く、「東海」居住が90.6%を占めている。このほか、「名古屋市科学館」「名古屋港水族館」の入込客では7割以上が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「関東」をはじめ「東海以外」の地域が47.0%を占め、「熱田神宮」でも33.6%が「東海以外」居住と、広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地域構成（観光地点別）

（単位：％）

地 域 観光地点	東 海				関 東	近 畿	北 陸・甲信越	北海道・東北	中国・四国	九州・沖縄	国 外
	名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県								
名古屋城	53.0	28.0	15.3	9.7	19.5	11.1	5.5	3.2	3.9	3.6	0.2
東山動植物園	90.6	53.5	27.1	10.0	3.9	2.6	1.3	1.1	0.0	0.5	0.0
熱田神宮	66.4	33.2	24.2	9.0	12.1	6.2	3.9	3.4	3.1	4.1	0.8
名古屋市科学館	72.6	34.5	24.2	13.9	7.4	10.9	5.1	1.5	0.8	1.0	0.7
名古屋港水族館	71.9	24.3	28.2	19.4	6.0	9.6	9.0	0.8	1.5	1.0	0.2
ノリタケの森	74.2	43.7	21.8	8.7	10.3	8.3	2.3	1.6	1.0	2.0	0.3
全 体	71.4	36.2	23.4	11.8	9.9	8.1	4.5	2.0	1.7	2.0	0.4

注：東 海：名古屋市、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県

関 東：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県

近 畿：滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

北 陸・甲信越：福井県、石川県、富山県、新潟県、長野県、山梨県

北海道・東北：北海道、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県

中国・四国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、大分県、宮崎県、熊本県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、沖縄県

b. 性別・年齢構成

男性が38.8%、女性が61.2%と、女性の割合が男性より高くなっている。男性は「40～49歳」の割合が19.7%と最も高く、続く「30～39歳」（19.5%）はほぼ同数である。女性は「30～39歳」が20.4%と最も高く、次いで「40～49歳」（17.0%）となっている。

全体の観光地点別にみると、「名古屋港水族館」は他の観光地に比べて「10～29歳」の割合が41.7%と高く、「60歳以上」の割合が8.7%と低い。一方、「名古屋城」と「東山動植物園」は「60歳以上」の割合がそれぞれ41.6%、40.5%と高い。

「熱田神宮」「名古屋市科学館」「ノリタケの森」は年齢による偏りが他の3地点より小さい。

男女で比較すると「東山動植物園」と「ノリタケの森」で、女性の割合が特に高くなっている。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	男女比
全体	名古屋城	3.2	12.8	13.7	17.1	11.6	22.4	19.2	－
	東山動植物園	2.9	5.7	20.4	20.4	10.0	21.2	19.4	－
	熱田神宮	3.4	17.6	17.2	20.8	16.5	16.0	8.5	－
	名古屋市科学館	7.2	21.6	24.3	19.0	13.7	10.6	3.6	－
	名古屋港水族館	16.6	25.1	26.7	16.1	6.8	6.4	2.3	－
	ノリタケの森	3.9	13.1	18.3	15.1	18.8	19.8	11.0	－
	合計	6.2	16.0	20.1	18.1	12.9	16.0	10.7	－
男性	名古屋城	4.6	11.0	10.3	16.3	12.2	24.7	20.9	42.5
	東山動植物園	2.6	4.1	17.1	20.2	5.7	23.3	27.0	31.3
	熱田神宮	4.8	15.9	17.0	26.0	14.1	13.7	8.5	44.1
	名古屋市科学館	5.3	20.2	25.5	18.1	14.0	13.2	3.7	39.7
	名古屋港水族館	16.4	22.9	29.7	17.6	4.6	4.6	4.2	42.7
	ノリタケの森	5.6	17.7	16.2	20.6	11.6	17.7	10.6	32.4
	合計	6.8	15.7	19.5	19.7	10.5	15.8	12.0	38.8
女性	名古屋城	2.2	14.0	16.3	17.7	11.2	20.6	18.0	57.5
	東山動植物園	3.1	6.4	22.0	20.5	12.0	20.0	16.0	68.7
	熱田神宮	2.3	19.0	17.3	16.7	18.4	17.8	8.5	55.9
	名古屋市科学館	8.4	22.5	23.6	19.5	13.6	8.9	3.5	60.3
	名古屋港水族館	16.8	26.6	24.4	15.1	8.5	7.7	0.9	57.3
	ノリタケの森	3.1	10.9	19.4	12.3	22.4	20.8	11.1	67.6
	合計	5.9	16.1	20.4	17.0	14.5	16.2	9.9	61.2

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」が多く、これをはじめとする「観光・娯楽」目的の割合は合わせて89.3%となった。

時系列に見ても、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「名古屋市科学館」は、「観光・娯楽」の中でも「イベント」が比較的高くなっている。一方、「東山動物園」と「名古屋港水族館」は、「観光・娯楽」の中でも「観光施設の見学」が比較的高くなっている。



図 2-1-1 入込客の主要な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位: %)

旅行目的 観光地	観光・娯楽							商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・学会・国際会議への出席・参加	その他
	観光・娯楽計	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為				
名古屋城	91.2	64.7	0.5	2.4	20.4	1.9	1.3	3.2	1.9	1.0	2.7
東山動植物園	97.1	85.0	0.0	0.8	7.9	0.8	2.6	0.0	0.8	0.0	2.1
熱田神宮	75.9	63.9	3.6	2.6	1.5	3.3	1.0	3.9	1.6	1.3	17.3
名古屋市科学館	91.7	68.5	3.1	3.3	12.3	3.8	0.7	1.8	2.5	0.2	3.8
名古屋港水族館	96.9	87.9	2.9	2.3	2.8	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	1.8
ノリタケの森	82.6	51.8	7.4	2.8	6.4	8.0	6.2	2.5	2.0	0.3	12.6
全体	89.3	70.5	2.9	2.4	8.5	3.0	2.0	2.0	1.5	0.5	6.7

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した人（全体の89.3%）が名古屋を選んだきっかけとして、「前に来たことがあり良かったから」が41.7%で最も割合が高く、リピーターも多いといえる。一方、「駅や電車のポスター・広告」「旅行代理店の紹介や店頭チラシ」をきっかけとして来訪した人は少なかった。

観光地点別にみると、特に「東山動植物園」「名古屋港水族館」では、「前に来たことがあり良かったから」の割合が特に高く、ファンの形成が出来ているようである。

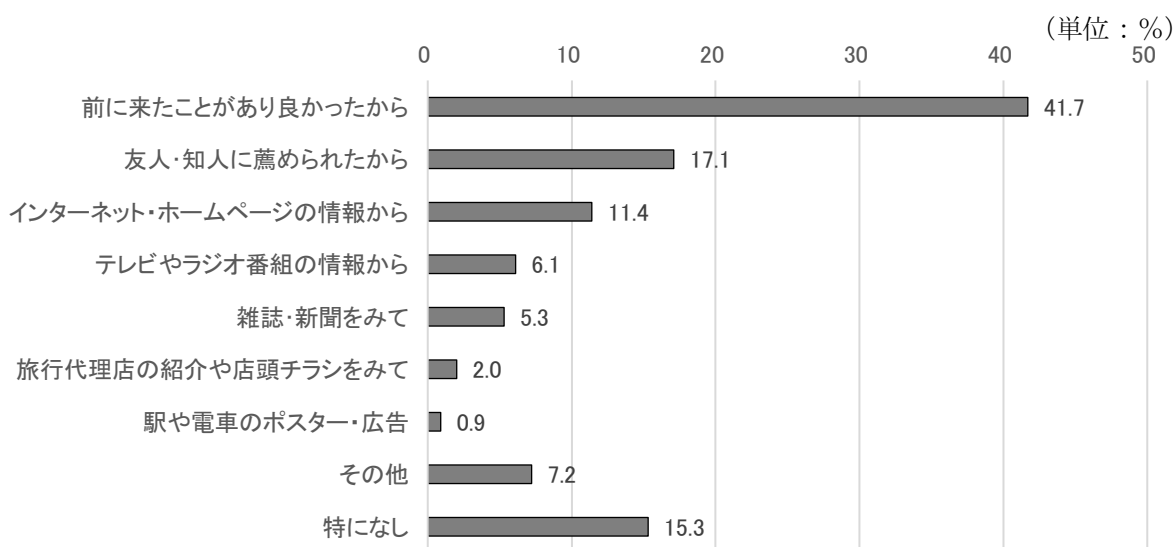


図 2-1-2 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点 \ きっかけ	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	インターネット・ホームページの情報から	テレビやラジオ番組の情報から	雑誌・新聞をみて	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車のポスター・広告	その他	特になし
名古屋城	33.2	18.1	10.8	9.0	6.4	3.9	0.5	9.6	16.0
東山動植物園	67.9	12.5	2.0	6.0	4.3	0.0	1.0	5.0	6.3
熱田神宮	25.6	11.9	7.5	3.0	2.2	1.5	0.0	10.6	41.6
名古屋市科学館	38.3	19.4	16.9	7.8	6.9	1.4	2.5	6.2	7.5
名古屋港水族館	46.7	15.6	15.8	6.4	6.6	1.7	0.5	4.4	17.3
ノリタケの森	32.9	25.7	15.2	3.4	5.0	3.6	0.8	8.5	7.3
全体	41.7	17.1	11.4	6.1	5.3	2.0	0.9	7.2	15.3

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光施設への立ち寄り状況をみると、一人あたりの平均訪問施設数は1.49施設である（計算式は次ページを参照）。

観光地点相互でみると、「名古屋城」へも立ち寄る割合は高く、特に「熱田神宮」の入込客で高い。また、「熱田神宮」へも立ち寄る割合は「名古屋城」の入込客で特に高くなっている。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースがみられる。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	名古屋テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
名古屋城		4.0	3.7	5.3	3.7	12.1	0.3	3.6	0.0	2.4	0.5	0.8	0.3
東山動植物園	4.5	0.6	0.3	0.5	0.5	1.3	0.2		5.2	1.3	0.5	1.5	0.3
熱田神宮	19.3	2.5	1.1	3.3	1.5		1.0	2.1	0.0	3.3	0.3	0.5	0.5
名古屋市科学館	10.9	1.8	1.1	0.3	1.1	4.4	0.3	2.3	0.3	2.3	1.0	0.7	0.3
名古屋港水族館	10.6	2.4	0.8	1.8	2.0	4.6	0.7	2.9	0.2	1.1	0.8	0.2	0.5
ノリタケの森	11.6	8.5		4.1	2.3	4.1	0.7	0.7	0.2	1.6	0.2	0.5	0.5

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	久屋大通庭園フラリエ	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数（施設）
名古屋城	1.6	0.3	0.2	0.3	2.4	1.3	0.5	0.2	1.1	0.5	9.5	1.55
東山動植物園	0.2	0.2	0.2	0.3	1.6	0.2	0.0	0.0	0.6	0.5	3.9	1.24
熱田神宮	2.0	0.2	0.5	0.5	1.8	1.3	0.0	0.0	1.5	0.7	10.1	1.54
名古屋市科学館		2.8	0.3	0.0	3.1	2.3	0.7	0.2	3.3	0.7	8.7	1.49
名古屋港水族館	3.1	0.5	0.2	0.0		17.4	3.7	0.0	1.5	3.3	4.1	1.62
ノリタケの森	1.3	0.2	0.2	0.0	1.0	0.3	0.2	0.7	3.1	1.0	7.2	1.50

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.49 = \{3685(a) + 1804(b)\} \div 3685(a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」と同行する観光客が 29.4%で、「幼児・小学生連れ」や「夫婦」など「家族連れ」が合計で 50.5%、「ひとり」が 16.2%となっている。

観光地点別にみると、「友人・知人」の割合は「名古屋港水族館」で 38.7%、「ノリタケの森」で 40.3%と比較的高い。「家族連れ」の割合が高いのは「東山動植物園」（68.2%）と「名古屋港水族館」（53.6%）であり、特に「東山動植物園」では「幼児・小学生連れ」が 41.3%と他の観光地点に比べて高い。一方、「熱田神宮」では、「ひとり」の割合が 28.1%と他の施設に比べて高い。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態		家族連れ計	幼児・小学生連れ	夫婦	その他	団体		その他
	ひとり	友人・知人					一般	学生	
名古屋城	17.9	26.4	45.2	9.0	18.3	17.9	10.2	0.0	0.3
東山動植物園	13.0	16.4	68.2	41.3	10.5	16.4	1.9	0.0	0.5
熱田神宮	28.1	21.9	48.2	8.2	19.1	20.9	1.3	0.0	0.5
名古屋市科学館	16.8	33.0	46.2	25.0	8.5	12.7	3.3	0.0	0.7
名古屋港水族館	4.9	38.7	53.6	30.3	7.7	15.6	2.6	0.2	0.0
ノリタケの森	16.5	40.3	41.4	10.5	16.0	14.9	1.6	0.0	0.2
全体	16.2	29.4	50.5	20.7	13.4	16.4	3.5	0.0	0.4

パッケージ旅行の割合は、全体では3.7%である。観光地別にみると、広域的に集客している「名古屋城」の入込客で8.6%と最も高い。

また、「日帰り客」はパッケージ旅行を1.8%しか利用していないが、「宿泊客」は12.0%と利用率が高くなっている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合が高いのは、「関東」12.9%、「北陸・甲信越」12.0%の順となっている。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

（単位：％）

観光地点・地域・宿泊		旅行形態 パッケージ旅行	パッケージ旅行 ではない
観光地点	名古屋城	8.6	91.4
	東山動植物園	0.8	99.2
	熱田神宮	1.8	98.2
	名古屋市科学館	4.4	95.6
	名古屋港水族館	1.6	98.4
	ノリタケの森	5.2	94.8
地域	東海	1.1	98.9
	名古屋市	0.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.9	99.1
	岐阜県・三重県・静岡県	4.8	95.2
	関東	12.9	87.1
	近畿	7.0	93.0
	北陸・甲信越	12.0	88.0
	北海道・東北	11.1	88.9
	中国・四国	11.1	88.9
	九州・沖縄	8.1	91.9
宿泊	その他	0.0	100.0
	宿泊客	12.0	88.0
	日帰り客	1.8	98.2
全 体		3.7	96.3

③ 旅行費用

a. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000 円未満」(34.6%)と「1,000～3,000 円未満」(30.1%)が多く、合わせて6割以上を占めている。一方、「交通費はかからない」が27.0%となっている。市内交通費の平均額は955 円であり、前年度(1,056 円)と比較すると101 円減(9.6%減)となった。

交通費の平均額を観光地点別にみると、名古屋城が1,468 円で最も高く、次いで名古屋港水族館(1,246 円)、名古屋市科学館(1,069 円)の順となっている。

居住地域別では、「名古屋市外客」は「1,000 円未満」(32.2%)と「1,000～3,000 円未満」(38.8%)が多く、合わせて7割以上を占めている。一方、「名古屋市内客」は「交通費はかからない」(44.3%)、「1,000 円未満」(39.3%)の割合が高く、平均額は460 円と低額である。

(単位：%)

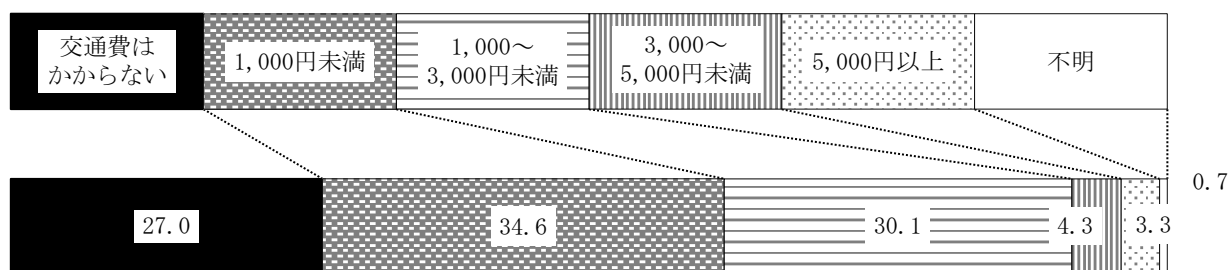


図 2-1-3 入込客の市内交通費

表 2-1-8 入込客の市内交通費（地域・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内交通費		交通費はかからない	1,000 円未満	1,000～3,000 円未満	3,000～5,000 円未満	5,000 円以上	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	24.4	19.5	38.0	8.2	8.1	1.8	1,468
	東山動植物園	29.0	50.4	17.2	1.3	1.1	1.0	641
	熱田神宮	44.2	23.9	26.8	2.0	2.3	0.8	705
	名古屋市科学館	11.4	46.6	32.8	4.9	4.1	0.2	1,069
	名古屋港水族館	9.6	29.3	50.8	7.8	2.3	0.2	1,246
	ノリタケの森	43.2	39.0	14.7	1.3	1.8	0.0	602
地域×宿泊	名古屋市内	44.3	39.3	14.8	1.0	0.5	0.1	460
	市内・宿泊	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	3,150
	市内・日帰り	44.3	39.3	14.7	1.1	0.5	0.1	451
	名古屋市外	17.1	32.2	38.8	6.1	4.8	1.0	1,239
	市外・宿泊	14.8	20.0	47.8	8.2	7.7	1.5	1,666
	市外・日帰り	18.2	37.5	34.8	5.2	3.6	0.7	1,056
全体		27.0	34.6	30.1	4.3	3.3	0.7	955

b. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では51.4%と過半数を占め、支出額で割合が高いのは「2,000円未満」（19.4%）と「2,000～5,000円未満」（19.3%）でほぼ同数だった。土産代の平均額は1,833円だった。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」が65.7%、「名古屋港水族館」が57.5%、「東山動植物園」が56.2%と高い。
地域・宿泊別にみると、「名古屋市外客」は「土産を購入する」割合が64.3%と高く、特に「名古屋市外からの宿泊客」は83.2%で、平均額も5,154円と高額である。

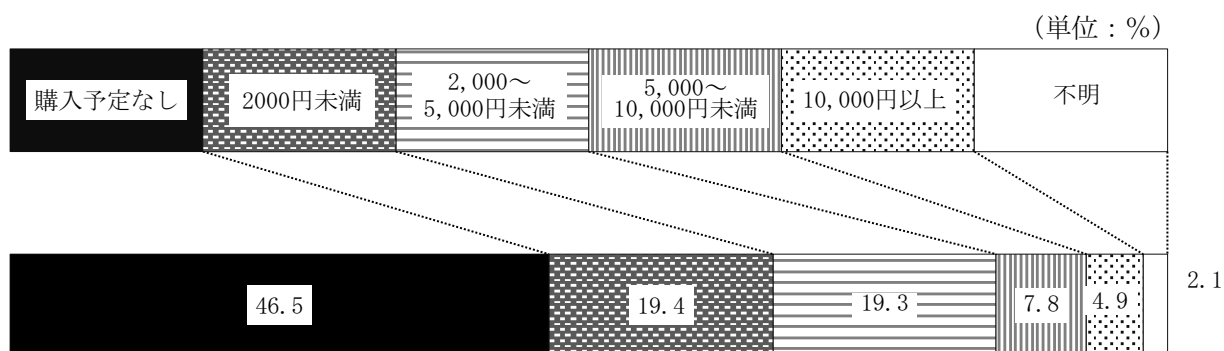


図 2-1-4 入込客の市内での土産代

表 2-1-9 入込客の市内での土産代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

土産代		購入予定なし	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	34.0	15.5	27.9	12.8	9.5	0.3	3,402
	東山動植物園	42.5	34.5	15.1	3.7	2.9	1.3	1,272
	熱田神宮	47.6	17.8	20.3	7.0	4.7	2.6	1,674
	名古屋市科学館	59.1	15.8	16.3	4.4	3.9	0.5	1,353
	名古屋港水族館	42.2	22.8	21.3	9.0	4.4	0.3	1,728
	ノリタケの森	54.5	9.7	14.6	9.7	3.6	7.9	1,525
地域×宿泊	名古屋市	70.5	19.5	7.0	1.1	0.6	1.3	505
	市内・宿泊	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	5,250
	市内・日帰り	70.4	19.5	7.1	1.1	0.5	1.4	491
	名古屋市外	33.1	19.3	26.2	11.5	7.3	2.6	2,596
	市外・宿泊	12.7	10.3	33.5	21.4	18.0	4.1	5,154
	市外・日帰り	41.9	23.2	23.0	7.3	2.6	2.0	1,512
全 体		46.5	19.4	19.3	7.8	4.9	2.1	1,833

c. 市内での食事代

市内での食事代をみると、全体では「2,000 円未満」が最も多く 41.5%であり、次いで「2,000～5,000 円未満」が 24.1%となっている。食事代の平均額は 2,548 円であり、前年度（2,812 円）と比較すると 264 円減（9.4%減）となった。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000～10,000 円未満」（27.9%）、「10,000 円以上」（27.1%）、「2,000 円～5,000 円未満」（27.0%）の順で多く、平均額は 6,508 円と最も高額になっている。一方、「名古屋市内の日帰り客」は「2,000 円未満」が 53.0%と最も多く、次いで「食事代はかからない」が 27.8%となっている。

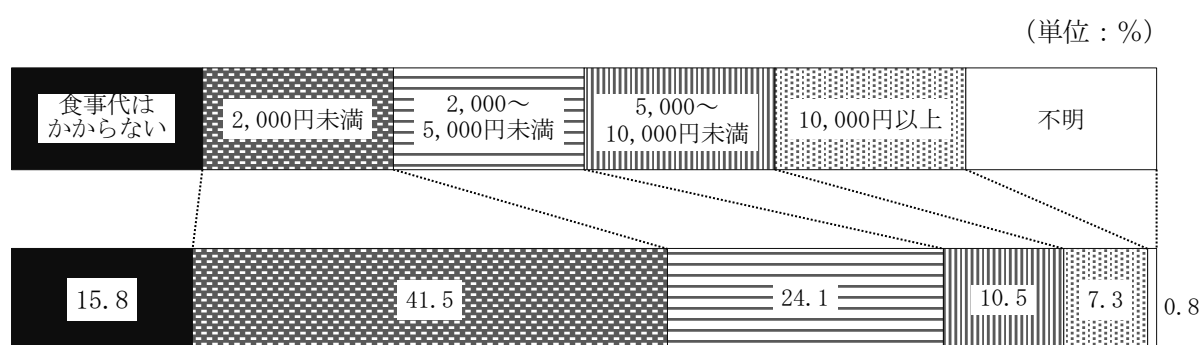


図 2-1-5 入込客の市内での食事代

表 2-1-10 入込客の市内での食事代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

地点・地域×宿泊		市内食事代						平均額 (円)
		食事代は かからない	2,000 円 未満	2,000～ 5,000 円 未満	5,000～ 10,000 円 未満	10,000 円 以上	不明	
観光地点	名古屋城	11.3	36.0	27.6	15.3	9.2	0.6	3,008
	東山動植物園	18.2	56.1	18.8	4.2	1.9	0.8	1,445
	熱田神宮	19.3	35.4	19.4	12.4	11.4	2.1	3,259
	名古屋市科学館	13.9	43.7	25.0	8.7	8.7	0.0	2,635
	名古屋港水族館	8.3	40.2	31.6	14.0	5.9	0.0	2,599
	ノリタケの森	24.2	37.1	22.3	8.5	6.9	1.0	2,350
地域×宿泊	名古屋市	27.7	53.0	15.1	2.9	0.9	0.4	1,124
	市内・宿泊	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	3,500
	市内・日帰り	27.8	53.0	14.9	2.9	0.9	0.5	1,116
	名古屋市外	9.1	34.9	29.3	14.8	11.0	0.9	3,360
	市外・宿泊	4.1	12.4	27.0	27.9	27.1	1.5	6,508
	市外・日帰り	12.0	48.2	30.6	7.2	1.4	0.6	1,999
全体		15.8	41.5	24.1	10.5	7.3	0.8	2,548

d. 市内での宿泊代

「名古屋市内の宿泊施設に宿泊する」と回答した割合は13.9%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000円未満」の割合が11.1%で最も高い。

1泊あたりの宿泊代の平均額は8,188円であり、前年度（8,948円）と比較すると760円減（8.5%減）となった。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000円未満」の割合が57.7%を占め、次いで「友人・知人の家に宿泊」（17.0%）、「5,000円未満」（9.0%）の順となっている。

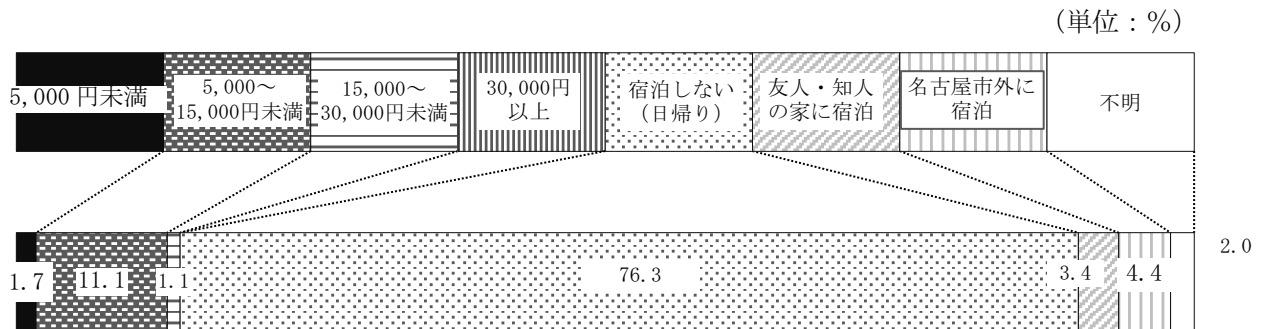


図 2-1-6 入込客の宿泊代

表 2-1-11 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内宿泊代		5000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	宿泊しない(日帰り)	友人・知人の家に宿泊	名古屋市外に宿泊	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊										
観光地点	名古屋城	2.6	22.1	2.3	0.0	57.5	2.7	8.1	4.7	8,419
	東山動植物園	0.5	3.1	0.6	0.0	91.9	2.8	1.1	0.0	9,596
	熱田神宮	2.8	13.9	1.3	0.0	72.5	3.8	4.9	0.8	7,957
	名古屋市科学館	2.3	9.3	1.1	0.2	79.5	3.6	2.5	1.5	7,851
	名古屋港水族館	1.5	10.1	1.0	0.0	76.4	3.6	6.4	1.0	7,490
	ノリタケの森	0.8	8.2	0.5	0.0	79.3	3.9	3.4	3.9	8,716
地域×宿泊	名古屋市内	0.0	0.0	0.0	0.0	99.7	0.3	0.0	0.0	—
	市内・宿泊	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	—
	市内・日帰り	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	—
	名古屋市外	2.7	17.4	1.8	0.0	63.0	5.1	6.9	3.1	—
	市外・宿泊	9.0	57.7	5.9	0.1	0.0	17.0	0.0	10.3	8,188
	市外・日帰り	0.0	0.0	0.0	0.0	90.1	0.0	9.9	0.0	—
全体		1.7	11.1	1.1	0.0	76.3	3.4	4.4	2.0	8,188

※平均額は、「宿泊しない」「友人・知人の家に宿泊」「名古屋市外に宿泊」「不明」のデータを含まず算出

e. 市内での入場料

「名古屋市内で観光施設等の入場料を支払う」という回答が全体では 60.6% であり、その金額としては「1,000 円未満」が 32.3% で最も高く、次が「1,000～3,000 円未満」の 23.4% となっている。入場料が有料の施設でも 2 割程度が「入場料はかからない」と回答しており、年間パスポートが周知され、その利用者が増えているとも考えられる。

観光地点別にみると、「名古屋城」「東山動植物園」「名古屋市科学館」では「1,000 円未満」が多く、それぞれ 59.8%、59.6%、49.6% となっている。一方、「名古屋港水族館」は「1,000～3,000 円未満」が 65.1% と多い。

地域別にみると、「名古屋市内客」は、「入場料はかからない」が 54.6% で過半数となっている。

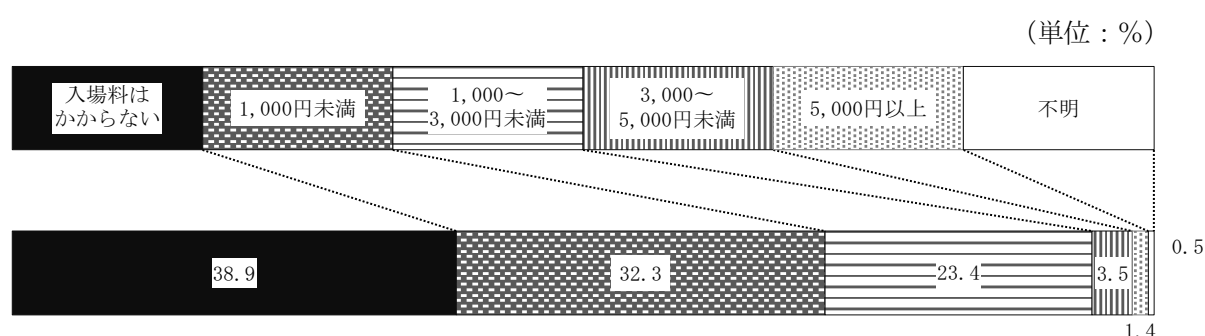


図 2-1-7 入込客の市内での入場料

表 2-1-12 入込客の市内での入場料

(単位：%)

入場料		入場料はかからない	1,000 円未満	1,000～3,000 円未満	3,000～5,000 円未満	5,000 円以上	不明	平均額 (円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	19.4	59.8	16.8	3.1	0.6	0.3	677
	東山動植物園	30.0	59.6	8.3	1.1	0.8	0.2	442
	熱田神宮	74.3	10.3	12.6	1.0	0.8	1.0	312
	名古屋市科学館	15.7	49.6	29.1	3.8	1.1	0.7	974
	名古屋港水族館	19.5	1.0	65.1	10.3	4.1	0.0	1,833
	ノリタケの森	74.7	13.1	8.7	1.8	0.7	1.0	275
地域×宿泊	名古屋市	54.6	31.1	13.3	0.8	0.1	0.1	372
	市内・宿泊	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	1,250
	市内・日帰り	54.6	31.1	13.2	0.8	0.1	0.2	370
	名古屋市外	30.0	33.0	29.2	5.0	2.1	0.7	971
	市外・宿泊	18.7	35.7	31.8	8.6	4.1	1.1	1,254
	市外・日帰り	35.0	31.8	28.0	3.5	1.2	0.5	850
全体		38.9	32.3	23.4	3.5	1.4	0.5	754

f. その他の費用

これまでの項目以外の「その他の費用」は、「その他の費用はかからない」(75.2%)と「2,000円未満」(11.4%)が合わせて8割以上を占めている。その他の費用の平均額は869円であり、前年度(1,008円)と比較すると139円減(13.8%減)となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外客」は、「名古屋市内客」の倍以上、「その他の費用」を支払っている。

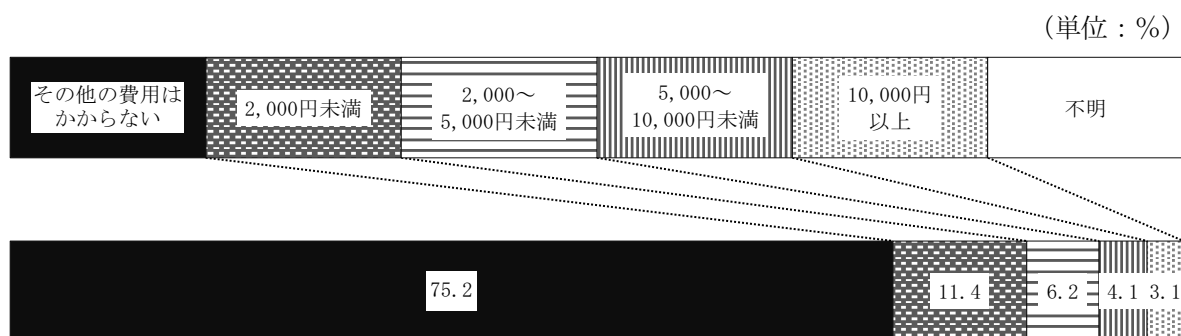


図 2-1-8 入込客のその他の費用

表 2-1-13 入込客のその他の費用

(単位：%)

その他の費用		その他の費用はかからない	2,000円未満	2,000円～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上	不明	平均額(円)
地点・地域×宿泊								
観光地点	名古屋城	82.8	5.3	5.0	2.7	4.2	0.0	1,028
	東山動植物園	67.4	14.1	10.2	5.2	3.1	0.0	961
	熱田神宮	76.0	13.2	3.6	3.9	3.3	0.0	852
	名古屋市科学館	78.3	10.0	6.7	2.9	2.1	0.0	636
	名古屋港水族館	69.8	11.9	8.5	6.4	3.4	0.0	1,038
	ノリタケの森	77.6	13.7	3.1	3.3	2.3	0.0	694
地域×宿泊	名古屋市	80.1	12.0	4.0	2.2	1.7	0.0	483
	市内・宿泊	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	2,750
	市内・日帰り	80.1	12.0	4.0	2.2	1.7	0.0	477
	名古屋市外	72.7	11.0	7.4	5.1	3.8	0.0	1,087
	市外・宿泊	67.0	9.5	9.9	7.1	6.5	0.0	1,763
	市外・日帰り	75.9	11.9	6.0	4.0	2.2	0.0	794
全 体		75.2	11.4	6.2	4.1	3.1	0.0	869

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外からの入込客が名古屋を訪れた回数は、「10 回以上」が 53.8%と最も多く、「今回初めて」訪れた割合は 15.4%である。

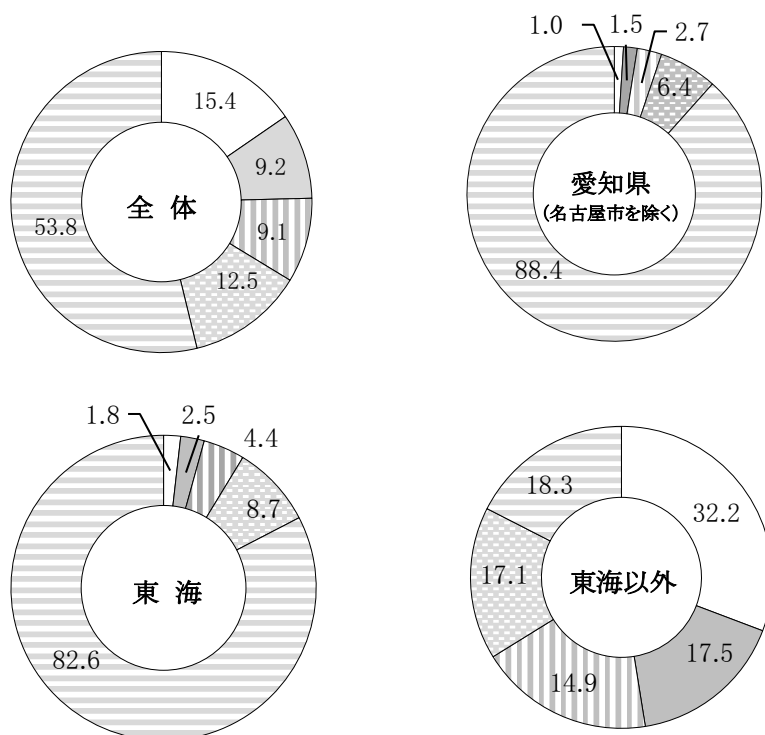
「10 回以上」の割合は、東海居住者では 8 割以上を占めている。一方、東海以外からの入込客では、32.2%が「今回はじめて」となっている。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数

（単位：％）

観光地点・地域		回数	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10 回目以上
観光地点	名古屋城		29.4	14.1	13.7	10.5	32.3
	東山動植物園		2.1	3.8	5.9	8.4	79.8
	熱田神宮		18.3	11.2	10.3	11.5	48.7
	名古屋市科学館		8.5	7.8	6.3	16.5	60.9
	名古屋港水族館		14.6	8.0	8.6	16.8	52.0
	ノリタケの森		14.0	8.4	8.4	9.0	60.2
地域	東海		1.8	2.5	4.4	8.7	82.6
	愛知県（名古屋市を除く）		1.0	1.5	2.7	6.4	88.4
	岐阜県・三重県・静岡県		3.2	4.6	7.8	13.4	71.0
	東海以外		32.2	17.5	14.9	17.1	18.3
全 体			15.4	9.2	9.1	12.5	53.8

□ はじめて ■ 2 回目 □ 3 回目 ■ 4～9 回目 ■ 10 回目以上



（単位：％）

図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外からの入込客の名古屋市内への交通手段は、全体では「自家用車」の割合が40.1%で最も高く、次いで「JR」（29.5%）、「名鉄電車」（14.3%）の順となっている。

居住地別にみると、東海の各県では「自家用車」の割合が最も高く、次いで愛知県では「名鉄電車」（32.4%）、岐阜県と静岡県では「JR」、三重県では「近鉄電車」が高くなっている。

一方、「東海以外」からの入込客では「JR」が43.2%で最も高く、「自家用車」の30.4%を上回っている。また、「航空機」が10.4%となっている。

旅行形態別にみると、「ひとり」「友人・知人」では「JR」、「家族連れ」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が高くなっている。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関 地点・地域・旅行形態		J R	名 鉄 電 車	近 鉄 電 車	自 家 用 車	航 空 機	路 線 バ ス	観 光 バ ス	そ の 他	合 計
調査場所別	名古屋城	27.6	7.4	2.5	40.8	6.7	1.1	12.6	4.7	103.4
	東山動植物園	28.9	28.9	5.2	33.8	3.1	2.8	0.0	1.4	104.1
	熱田神宮	29.3	14.9	4.4	41.6	7.6	1.0	2.0	1.7	102.5
	名古屋市科学館	31.3	15.8	6.3	35.8	4.0	2.3	6.3	0.5	102.3
	名古屋港水族館	20.4	7.3	2.8	58.9	0.6	3.9	5.6	1.3	100.8
	ノリタケの森	43.0	18.0	7.3	22.4	5.8	3.2	4.4	2.0	106.1
地域	東海	18.5	24.5	4.5	48.0	0.0	1.4	4.1	1.3	102.3
	愛知県（名古屋市を除く）	16.0	32.4	1.2	49.0	0.0	1.2	0.9	1.7	102.4
	岐阜県	27.0	16.9	1.7	43.8	0.0	1.7	10.1	0.6	101.8
	三重県	9.8	1.5	34.8	41.7	0.0	2.3	12.1	0.8	103.0
	静岡県	33.1	4.8	0.0	53.2	0.0	1.6	8.9	0.0	101.6
	東海以外	43.2	1.7	4.6	30.4	10.4	3.5	7.3	2.9	104.0
旅行形態	ひとり（同行者なし）	43.2	24.7	5.1	13.4	6.8	4.1	0.7	5.1	103.1
	友人・知人	39.0	17.4	6.0	27.4	4.1	3.3	3.6	2.5	103.3
	家族 幼児・小学生連れ	16.6	10.2	3.8	67.2	1.0	0.2	1.9	0.5	101.4
	夫婦	26.9	12.3	2.8	51.9	5.4	1.9	0.9	0.9	103.0
	その他	22.2	10.9	4.3	55.9	5.2	2.5	0.9	0.9	102.8
	団体旅行	13.8	3.3	1.6	4.1	10.6	0.0	69.1	3.3	105.8
	その他	75.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	112.5
全体		29.5	14.3	4.6	40.1	4.6	2.3	5.5	2.0	102.9

（合計値が100を超えるのは複数回答のため）

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外からの入込客のうち、訪問先が「名古屋市内のみ」は81.0%、「名古屋市以外にも訪問する」は19.0%である。名古屋市以外の訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」を訪問する割合が4.4%で最も高く、次いで「伊勢・志摩」(3.8%)、「明治村・犬山」(2.9%)、「知多・常滑・セントレア」(2.7%)、「岐阜・関ヶ原」(2.0%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋以外にも訪問する」という割合は、「名古屋城」(28.5%)、「熱田神宮」(23.2%)、「ノリタケの森」(20.9%)の順で高くなっている。

宿泊客は「名古屋市以外にも訪問する」という割合が32.2%と比較的高く、訪問先としては「伊勢・志摩」が8.4%で最も高く、次いで「明治村・犬山」(7.5%)、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(6.9%)となっている。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

(単位：%)

訪問地 観光地点・宿泊		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	伊勢・志摩	明治村・犬山	知多・常滑・セントレア	岐阜・関ヶ原	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	下呂・高山	豊橋・伊良湖	瀬戸・小原	蒲郡・西浦・三谷	豊川・鳳来寺	多治見・恵那・中津川	その他	訪問地合計
観光地点	名古屋城	71.5	5.2	6.5	4.0	1.8	3.1	1.6	0.2	0.2	1.8	1.3	0.9	0.2	0.2	2.7	29.7
	東山動植物園	91.3	2.4	0.0	2.4	1.7	0.3	1.7	0.0	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	10.8
	熱田神宮	76.8	4.4	6.6	3.2	3.4	2.7	0.7	1.2	1.0	3.4	0.5	1.0	1.2	0.0	2.7	32.0
	名古屋市科学館	90.0	3.8	1.3	1.3	1.0	0.8	0.3	0.0	0.3	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.3	11.4
	名古屋港水族館	81.1	5.8	2.2	1.9	0.9	2.4	0.9	0.2	1.7	0.9	0.4	1.3	0.2	0.2	0.9	19.9
	ノリタケの森	79.1	3.8	5.2	4.9	3.5	1.5	0.9	0.3	0.6	3.5	0.9	0.0	0.3	0.3	3.5	29.2
宿泊	宿泊	67.8	6.9	8.4	7.5	3.0	3.5	2.0	0.6	1.4	3.0	0.6	0.7	0.6	0.1	3.4	41.7
	日帰り	86.7	3.3	1.8	1.0	1.6	1.2	0.5	0.2	0.4	1.6	0.6	0.5	0.2	0.2	1.2	14.3
全体		81.0	4.4	3.8	2.9	2.7	2.0	1.9	1.0	0.8	0.7	0.6	0.6	0.3	0.2	1.9	23.8

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

⑦旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が62.9%であり、「2日間以上」の割合は37.1%となっている。

観光地点別にみると、「日帰り」の割合が最も高いのは「東山動物園」で82.6%であり、次いで「名古屋市科学館」（69.3%）、「名古屋港水族館」（69.1%）、「ノリタケの森」（63.3%）となっている。

一方、「日帰り」の割合が最も低いのは「名古屋城」で41.0%となっている。

居住地別にみると、「東海」居住者では「日帰り」が94.3%と大部分を占める。東海以外では「近畿」が39.3%と比較的高い。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		日程				
		日帰り	2日間	3日間	4日間	5日以上
観光地点	名古屋城	41.0	39.7	14.1	2.5	2.7
	東山動植物園	82.6	9.1	4.5	1.7	2.1
	熱田神宮	59.0	23.7	11.5	2.4	3.4
	名古屋市科学館	69.3	19.8	6.8	1.3	2.8
	名古屋港水族館	69.1	23.0	6.0	0.6	1.3
	ノリタケの森	63.3	22.7	7.6	4.1	2.3
地域	東海	94.3	4.9	0.5	0.2	0.1
	関東	18.1	51.2	21.4	4.4	4.9
	近畿	39.3	47.0	9.7	2.7	1.3
	北陸・甲信越	33.7	53.1	10.8	0.6	1.8
	その他	5.4	38.3	32.8	9.5	14.0
全体		62.9	24.0	8.7	2.0	2.4

⑧市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方の内、名古屋市内に宿泊する割合は79.2%である。泊数としては、「1泊」する割合が54.9%と最も高い。

居住地別にみると、「名古屋市内に宿泊」する割合は、「その他」が81.4%で最も高く、次いで「近畿」(81.3%)、「関東」(80.9%)となっている。

一方、「東海」からの入込客は「宿泊しない」が37.0%と最も市内宿泊が少ない。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

(単位：%)

市内宿泊数 観光地点・地域		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上
観光地点	名古屋城	20.2	61.2	14.1	3.0	1.5
	東山動植物園	24.0	30.0	28.0	10.0	8.0
	熱田神宮	18.5	54.6	18.5	4.8	3.6
	名古屋市科学館	15.6	54.1	21.3	4.1	4.9
	名古屋港水族館	30.6	49.9	17.4	1.4	0.7
	ノリタケの森	18.3	57.0	16.7	5.6	2.4
地域	東海	37.0	50.6	9.6	1.4	1.4
	関東	19.1	55.7	18.8	3.4	3.0
	近畿	18.7	63.8	11.5	4.9	1.1
	北陸・甲信越	22.7	64.6	11.8	0.0	0.9
	その他	18.6	42.0	27.1	7.1	5.2
全体		20.8	54.9	17.6	4.0	2.7

⑨名古屋の観光評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「大変満足」（36.1%）と「ほぼ満足」（45.4%）を合わせて81.5%の方が満足と評価している。一方、「不満」は0.1%、「やや不満」も0.8%で、合わせて0.9%に過ぎなかった。

観光地点別にみると、満足と評価している方の割合は「名古屋城」で88.6%、「名古屋市科学館」で85.5%と特に高かった。

居住地別、性別、年齢別でも、大半の層で満足という評価の割合が高く、市外からの入込客については名古屋の印象は良好と言える。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行満足度

（地点・地域・性別・年齢）

（単位：％）

印象・満足度 地点・地域・性別・年齢		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
観光地点	名古屋城	43.9	44.7	10.3	1.1	0.0
	東山動植物園	22.6	55.5	20.9	1.0	0.0
	熱田神宮	37.7	38.8	22.0	1.0	0.5
	名古屋市科学館	45.7	39.8	14.0	0.5	0.0
	名古屋港水族館	31.2	49.7	19.1	0.0	0.0
	ノリタケの森	30.8	46.8	20.9	1.5	0.0
地域	東海	33.2	45.7	20.6	0.5	0.0
	愛知県（名古屋市を除く）	31.6	45.5	22.3	0.6	0.0
	岐阜県	37.1	43.2	19.7	0.0	0.0
	三重県	35.6	43.1	20.5	0.8	0.0
	静岡県	36.3	53.2	10.5	0.0	0.0
	関東	43.9	42.6	12.1	1.1	0.3
	近畿	41.0	43.3	14.7	0.7	0.3
	北陸・甲信越	38.6	42.1	18.1	1.2	0.0
性別	男性	35.0	43.8	20.0	1.1	0.1
	女性	37.0	46.3	16.0	0.6	0.1
年齢	10～19 歳	55.0	31.0	14.0	0.0	0.0
	20～29 歳	40.8	40.8	18.0	0.4	0.0
	30～39 歳	33.0	43.6	22.0	1.4	0.0
	40～49 歳	31.0	49.9	18.0	1.1	0.0
	50～59 歳	36.0	48.1	15.0	0.6	0.3
	60～69 歳	31.0	50.8	17.0	0.9	0.3
	70～79 歳	36.0	48.0	15.3	0.7	0.0
	80 歳以上	50.0	42.3	7.7	0.0	0.0
全体		36.1	45.4	17.6	0.8	0.1

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が満足した名古屋の観光資源は、「レジャー施設」が46.4%で最も高く、次いで「歴史的な施設」（36.8%）、「産業観光・ものづくりの施設」（14.8%）となっている。

居住地別にみると、「東海」「近畿」「北陸・甲信越」からの入込客は「歴史的な施設」より「レジャー施設」の満足度が高い。一方、「関東」からの入込客は「歴史的な施設」の満足度が「レジャー施設」よりも高い。

年齢別にみると、50歳以上で「歴史的な施設」の満足度が最も高く、50歳未満では「レジャー施設」の満足度の方が高い。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源

(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

満足した観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	街歩き ショッピングや	グルメ・なごやめし	イベント・お祭り	観劇鑑賞 コンサートや	スポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	82.7	6.7	7.4	3.1	10.1	4.5	1.6	2.2	1.1	7.2	126.6
	東山動植物園	6.3	1.4	84.3	5.6	5.2	0.7	2.1	1.0	0.3	9.1	116.0
	熱田神宮	82.9	2.2	4.2	5.9	7.8	1.7	2.2	1.0	1.0	9.8	118.7
	名古屋市科学館	11.3	3.0	86.8	3.0	8.0	0.8	2.0	0.5	0.5	4.5	120.4
	名古屋港水族館	11.0	3.0	95.1	6.2	11.4	1.1	3.2	0.4	0.2	2.2	133.8
	ノリタケの森	12.5	81.1	2.6	6.1	7.6	0.6	3.5	0.3	0.3	6.7	121.3
地域	東海	25.9	12.6	53.7	4.2	4.6	1.6	1.3	0.8	0.3	7.5	112.5
	愛知県（名古屋市を除く）	25.8	12.6	52.6	3.9	5.3	2.0	1.2	0.5	0.3	8.2	112.4
	岐阜県	25.8	14.0	53.9	6.2	2.2	0.6	1.1	1.1	0.6	7.3	112.8
	三重県	16.7	12.1	62.9	4.5	2.3	0.8	0.8	1.5	0.0	6.8	108.4
	静岡県	37.1	11.3	50.8	3.2	5.6	1.6	3.2	2.4	0.0	4.0	119.2
	関東	54.4	19.8	29.9	5.5	13.5	1.9	4.4	1.4	0.8	5.8	137.4
	近畿	41.3	17.3	45.0	3.7	14.0	1.0	4.0	1.0	0.7	3.7	131.7
	北陸・甲信越	34.9	13.9	54.8	5.4	12.0	3.6	3.6	1.2	1.2	5.4	136.0
性別	男性	40.6	12.5	42.6	4.8	7.1	1.4	1.9	1.6	0.5	7.7	120.7
	女性	34.3	16.3	48.8	5.0	9.6	1.8	2.7	0.5	0.6	5.4	125.0
年齢	10～19歳	21.1	6.8	66.5	7.5	5.0	0.0	1.9	0.6	0.0	8.1	117.5
	20～29歳	37.1	9.7	53.4	6.8	11.8	1.5	2.3	0.2	0.6	5.1	128.5
	30～39歳	24.9	10.9	59.6	4.8	10.4	0.7	3.2	1.1	0.7	8.2	124.5
	40～49歳	35.2	13.8	49.4	5.3	10.9	2.4	2.9	1.1	0.4	7.1	128.5
	50～59歳	44.4	23.1	31.3	4.1	6.6	2.2	3.1	1.6	0.9	4.7	122.0
	60～69歳	48.8	22.1	29.1	3.0	5.2	1.2	1.8	0.9	0.9	5.5	118.5
	70～79歳	48.7	20.0	26.0	2.0	4.0	4.0	0.0	1.3	0.0	6.7	112.7
	80歳以上	42.3	15.4	38.5	3.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	107.6
全体		36.8	14.8	46.4	4.9	8.6	1.7	2.4	0.9	0.6	6.3	123.4

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が今回の名古屋訪問で不満を感じた名古屋の観光資源は、全体では「特になし」が96.2%と大半を占めている。観光地点別、居住地別、性別、年齢にみても、すべての階層で「特になし」が大半を占めた。

観光地点別、地域別、性別、年齢別にみても2.0%を超える観光資源はなく、「特になし」が9割以上を占めている。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源

(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

不満を感じた観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ ものづくり施設	レジャー施設	街歩き ショッピングや	グルメ・ なごやめし	イベント お祭り・	観劇鑑賞	コンサートや	スポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	0.7	0.2	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	96.6	100.1	
	東山動植物園	0.3	0.3	1.0	0.7	1.4	0.3	1.0	0.7	3.5	92.0	101.2	
	熱田神宮	0.5	0.2	1.0	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	1.5	96.2	100.0	
	名古屋市科学館	0.3	0.0	1.3	1.3	0.5	0.0	0.0	0.0	1.8	95.8	101.0	
	名古屋港水族館	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	99.1	100.3	
	ノリタケの森	0.9	0.6	0.6	1.2	0.3	0.3	0.0	0.0	2.0	95.6	101.5	
地域	東海	0.3	0.3	0.5	0.2	0.5	0.1	0.1	0.2	0.8	97.4	100.4	
	愛知県（名古屋市を除く）	0.2	0.5	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2	0.7	97.7	100.4	
	岐阜県	1.1	0.0	0.0	0.6	1.1	0.0	0.0	0.0	1.7	95.5	100.0	
	三重県	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	97.0	100.1	
	静岡県	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	98.4	100.0	
	関東	0.3	0.0	0.5	1.4	0.5	0.3	0.0	0.3	1.9	95.6	100.8	
	近畿	1.0	0.3	1.3	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	3.3	93.7	101.0	
	北陸・甲信越	0.0	0.0	1.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	97.6	101.2	
	その他	1.0	0.0	1.4	1.9	0.5	0.5	0.0	0.0	4.3	98.1	107.7	
性別	男性	0.8	0.3	0.5	0.8	0.6	0.1	0.2	0.0	1.7	95.8	100.8	
	女性	0.2	0.1	0.8	0.4	0.4	0.1	0.1	0.3	1.6	96.4	100.4	
年齢	10～19 歳	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	98.2	100.0	
	20～29 歳	0.2	0.4	0.6	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	1.1	97.7	100.8	
	30～39 歳	0.2	0.5	0.7	1.1	0.5	0.0	0.0	0.2	1.8	95.5	100.5	
	40～49 歳	0.2	0.0	1.1	0.4	0.7	0.0	0.2	0.2	1.8	96.2	100.8	
	50～59 歳	0.0	0.0	0.9	0.9	0.6	0.0	0.3	0.0	1.9	95.9	100.5	
	60～69 歳	1.5	0.3	0.9	0.3	0.9	0.3	0.0	0.6	3.0	92.7	100.5	
	70～79 歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.3	98.7	100.7	
	80 歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
	全体		0.4	0.2	0.7	0.6	0.5	0.1	0.1	0.2	1.7	96.2	100.7

(合計値が100を超えるのは複数回答のため)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は78.6%であり、次回訪れてみたい観光地としては「歴史的な施設」(27.4%)と「レジャー施設」(27.1%)でほぼ同数だった。次いで「グルメ・なごやめし」(18.3%)、「産業観光・ものづくりの施設」(14.4%)、「ショッピングや街歩き」(13.8%)となっている。

調査地点別にみると、「名古屋科学館」と「東山動植物園」で、次回は「レジャー施設」を訪れたいと回答した入込客がそれぞれ40.3%、33.4%と比較的高かった。

居住地別にみると、「東海」「近畿」は「レジャー施設」が最も高く、その他の地域は「歴史的な施設」が最も高かった。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源

(地点・地域・性別・年齢)

(単位：%)

訪れてみたい観光資源 地点・地域・性別・年齢		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	街歩き ショッピングや	なごやめし	グルメ・イベント	お祭り・観劇鑑賞	コンサートやスポーツ観戦	その他	特になし	合計
観光地点	名古屋城	27.8	18.6	24.9	7.2	16.6	16.1	7.2	8.5	1.1	17.7	145.7
	東山動植物園	26.8	11.8	33.4	18.5	15.3	13.2	13.2	7.3	0.7	17.8	158.0
	熱田神宮	31.5	14.4	21.8	12.7	15.6	7.3	2.0	4.4	0.5	28.9	139.1
	名古屋科学館	25.3	14.5	40.3	12.5	19.8	14.8	13.5	9.5	0.5	13.8	164.5
	名古屋港水族館	25.8	16.1	23.9	21.9	21.3	14.0	8.8	11.4	1.1	20.4	164.7
	ノリタケの森	27.3	8.7	20.1	10.5	20.3	4.1	9.0	3.8	3.2	30.5	137.5
	ノリタケの森	27.3	8.7	20.1	10.5	20.3	4.1	9.0	3.8	3.2	30.5	137.5
地域	東海	25.6	12.2	28.6	16.9	16.9	12.2	10.2	8.3	0.9	23.1	154.9
	愛知県（名古屋市を除く）	25.2	12.1	27.6	15.6	16.1	12.8	10.5	8.1	1.2	23.5	152.7
	岐阜県	29.2	12.4	32.0	18.5	17.4	11.8	10.1	6.7	0.6	20.8	159.5
	三重県	22.7	7.6	28.0	19.7	15.9	12.1	10.6	7.6	0.0	26.5	150.7
	静岡県	26.6	16.9	31.5	20.2	23.4	8.1	8.1	12.9	0.8	20.2	168.7
	関東	33.5	19.8	23.1	9.3	18.1	11.3	5.8	5.2	1.4	19.2	146.7
	近畿	23.7	14.7	32.0	10.7	24.0	11.7	7.0	9.0	2.0	15.0	149.8
	北陸・甲信越	30.7	15.1	26.5	12.0	21.7	12.0	10.2	9.6	0.0	21.1	158.9
	その他	30.6	18.0	18.5	9.0	16.2	10.8	5.4	5.0	1.8	23.9	139.2
性別	男性	23.0	15.7	24.4	11.6	16.5	11.2	5.8	11.9	1.1	24.0	145.2
	女性	30.4	13.6	28.9	15.3	19.4	12.3	10.6	4.9	1.2	19.7	156.3
年齢	10～19歳	14.9	9.3	26.1	22.4	23.0	15.5	9.3	8.7	0.6	18.0	147.8
	20～29歳	27.4	11.6	28.1	16.2	21.9	15.2	10.3	9.9	1.1	18.4	160.1
	30～39歳	21.5	17.0	35.8	13.4	19.7	15.0	7.5	6.8	1.1	18.1	155.9
	40～49歳	28.5	15.1	28.1	16.0	18.3	10.9	10.5	10.0	1.1	21.2	159.7
	50～59歳	31.9	15.3	24.1	9.7	20.6	9.7	9.4	7.2	1.9	20.3	150.1
	60～69歳	31.8	16.7	23.3	9.7	11.5	6.7	6.7	3.9	0.6	27.6	138.5
	70～79歳	33.3	12.7	13.3	10.7	9.3	8.7	5.3	6.0	1.3	31.3	131.9
	80歳以上	42.3	11.5	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	3.8	34.6	123.0
全体		27.4	14.4	27.1	13.8	18.3	11.8	8.7	7.7	1.1	21.4	151.7

2-2 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成 28 年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成 27 年度調査により把握した市内宿泊施設に、平成 28 年度に新規開業した施設を加え 170 施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館を除いたものを調査対象とした。

調査に当たっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- ・施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- ・タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- ・平成 28 年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- ・国別、宿泊客数
- ・修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- ・調査時期：平成 29 年 6 月 20 日～7 月 20 日
- ・回答状況：調査対象 170 施設
有効回答数 167 施設
（全問回答 55 施設、準全問回答 40 施設、部分回答 72 施設）
うち新規開業数 7 施設
廃休業数 3 施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした 170（平成 28 年度新規開業した 7 施設を含む）施設のうち調査で廃休業が判明した 3 施設を除く 167 施設を有効回答とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは 55 施設（対有効回答比 32.9%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは 40 施設（対有効回答比 24.0%）、部分回答が得られたのは 72 施設（対有効回答比 43.1%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の半数以上を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、客室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200 室以上、100 室以上 200 室未満、50 室以上 100 室未満、50 室未満

表 2-2-1 回答状況（タイプ、規模別）

（単位：施設）

回答状況 施設規模		有効回答数				廃業	新規開業	調査対象数
		全問回答	準全問回答	部分回答				
登録ホテル		15	9	4	2	0	(0)	15
ホテル (登録ホテルを除く)	200 室以上	36	16	12	8	0	(3)	36
	100 室以上 200 室未満	43	11	14	18	1	(3)	44
	50 室以上 100 室未満	28	7	8	13	0	(1)	28
	50 室未満	17	6	1	10	0	(0)	17
計		124	40	35	49	1	(7)	125
旅館		28	6	1	21	2	(0)	30
全体		167	55	40	72	3	(7)	170
有効回答に占める全問回答、準全問回答、部分回答の割合		100.0%	32.9%	24.0%	43.1%	－	－	－

② 施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが 15 施設、登録ホテルを除くホテルは 124 施設、旅館は 28 施設となっている。また、室数の合計は 23,530 室、収容人数の合計は 35,336 人で、前年度調査時点より部屋数では 830 室（3.7%）、収容人数では 3,084 人（9.6%）の増加となった。

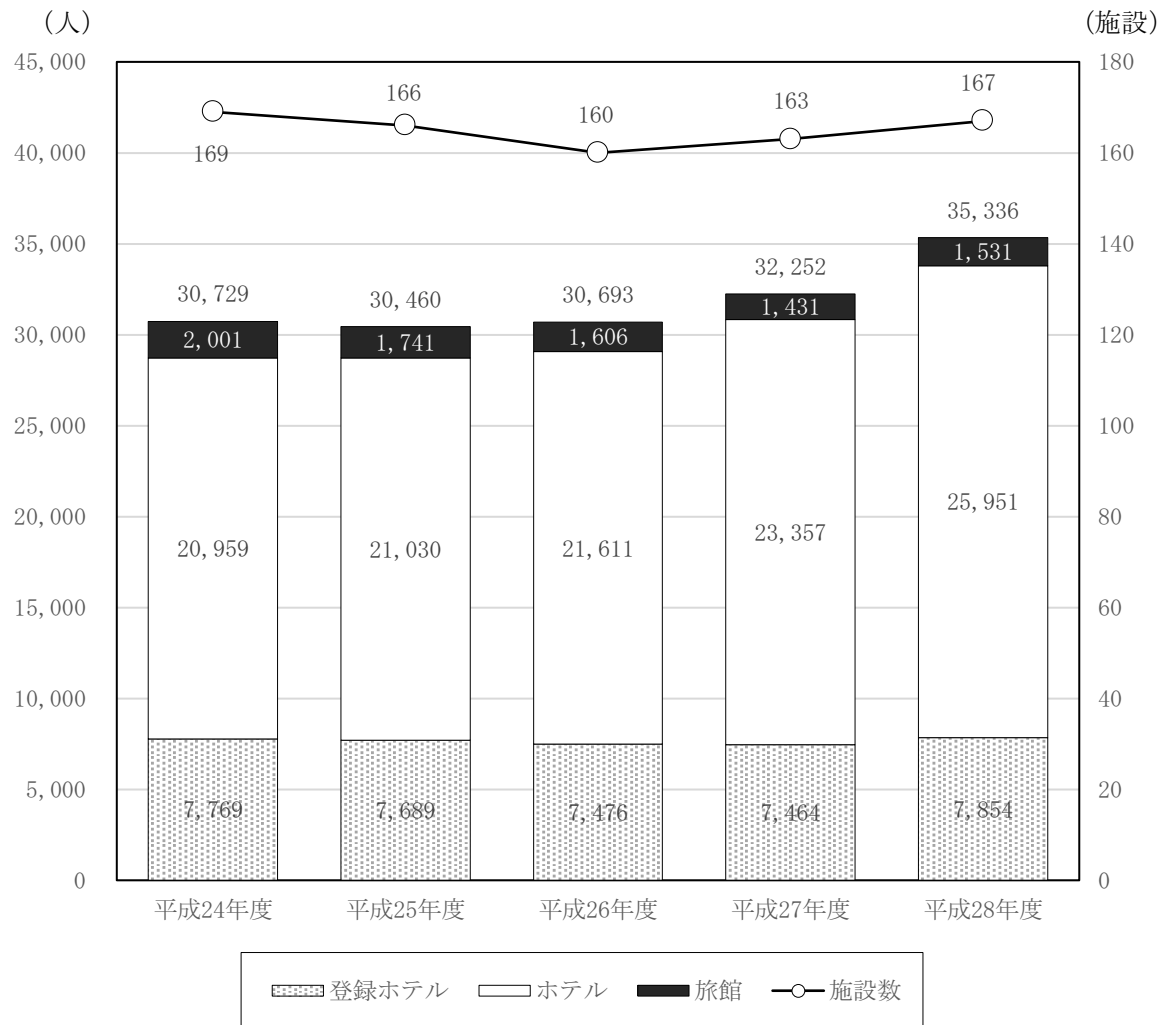
表 2-2-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模		室・人員	回答数 (施設)	和室		洋室		合計	
				客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル			15	8	18	4,622	7,836	4,630	7,854
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上		36	12	32	9,363	12,964	9,375	12,996
	100 室以上 200 室未満		43	98	168	6,145	8,767	6,243	8,935
	50 室以上 100 室未満		28	39	140	2,116	3,086	2,155	3,226
	50 室未満		17	41	99	504	695	545	794
	計		124	190	439	18,128	25,512	18,318	25,951
旅館			28	528	1,435	54	96	582	1,531
全 体			167	726	1,892	22,804	33,444	23,530	35,336

表 2-2-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)	客室 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル	4,896	7,769	4,898	7,689	4,706	7,476	4,708	7,464	4,630	7,854
ホテル	16,020	20,959	16,020	21,030	16,492	21,611	17,461	23,357	18,318	25,951
旅館	710	2,001	631	1,741	577	1,606	531	1,431	582	1,531
全 体	21,626	30,729	21,549	30,460	21,775	30,693	22,700	32,252	23,530	35,336
施設数	169		166		160		163		167	

図 2-2-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

a. 宿泊者数

平成 28 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 841 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 202 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 624 万人泊、旅館が約 15 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 639 万人となっており、1 人あたりの宿泊日数は約 1.32 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 134 万人泊、実人数は約 89 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 14.0%が外国人で構成されており、1 人あたりの宿泊日数は約 1.50 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、宿泊者 1 人あたりの宿泊日数は、旅館が 2.08 日、登録ホテルが 1.75 日、ホテル（登録ホテルを除く）が 1.39 日となっている。

表 2-2-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数 (人泊)	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数 (人泊)	全施設の年間 総実人数 (人)	うち全施設の年間 外国人総実人数 (人)
登録ホテル		2,020,290	488,910	1,438,446	279,657
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	3,207,162	452,210	2,382,921	299,815
	100 室以上 200 室未満	2,185,456	327,818	1,811,743	265,533
	50 室以上 100 室未満	759,300	66,818	600,606	45,503
	50 室未満	87,521	3,326	73,168	1,976
合 計		6,239,439	850,172	4,868,438	612,827
旅 館		149,282	2,090	80,164	1,003
全 体		8,409,011	1,341,172	6,387,048	893,487

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数はこれまで増加傾向にあったが、平成 28 年度は頭打ちとなった。年間総実人数は前年度比約 14 万人減（2.2%減）、年間総延べ宿泊者数は約 4 万人減（0.5%減）となった。

年間定員稼働率は前年度より 6.8 ポイント低下した。

外国人宿泊者数は、総実人数が前年度比 13 万人減（12.3%減）、総延べ宿泊数は約 1 万人減（1.1%減）となった。

表 2-2-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
年間総実人数（人）	5,796,736	5,979,400	5,855,719	6,529,101	6,387,048
うち外国人	482,571	570,030	556,595	1,019,011	893,487
年間総延べ宿泊者数（人泊）	6,950,791	7,509,115	7,523,002	8,453,709	8,409,011
うち外国人	606,148	839,550	849,079	1,355,694	1,341,172
年間定員稼働率（%）	63.2%	67.8%	68.6%	72.9%	66.1%

図 2-2-2 市内延べ宿泊者数の推移



－ 推計方法 －

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一泊あたりの収容可能人数に、平成 28 年度の営業日数（365 日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答有り施設（94 施設）を対象として 66.1%の値を得た。区分別にみると、登録ホテルが最も高く、旅館が最も低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する延べ宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-2-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 回答あり施設 の年間延べ 宿泊人数 (人泊)	② 回答あり施設 の1日収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		12	1,196,078	4,651	1,697,615	70.5
(登録ホテルを除く) ホテル	200室以上	24	2,138,531	8,665	3,162,725	67.6
	100室以上 200室未満	24	1,258,856	5,146	1,878,290	67.0
	50室以上 100室未満	17	458,191	1,947	710,655	64.5
	50室未満	7	39,020	354	129,210	30.2
合 計		72	3,894,598	16,112	5,880,880	66.2
旅 館		10	55,140	565	206,225	26.7
全 体		94	5,145,816	21,328	7,784,720	66.1

注：③＝②×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$$④＝①÷③$$

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設（73 施設）の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（3,263,195 人泊）を算出した。

表 2-2-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設の年間収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設の 年間延べ宿泊者 数の推計値 (人)
登録ホテル		3	3,203	1,169,095	70.5	824,212
(登録ホテルを除く) ホテル	200室以上	12	4,331	1,580,815	67.6	1,068,631
	100室以上 200室未満	19	3,789	1,382,985	67.0	926,600
	50室以上 100室未満	11	1,279	466,835	64.5	301,109
	50室未満	10	440	160,600	30.2	48,501
合 計		52	9,839	3,591,235		2,344,841
旅 館		18	966	352,590	26.7	94,142
全 体		73	14,008	5,112,920		3,263,195

注：②＝①×365 日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$$④＝②×③$$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた。（8,409,011人泊）

表 2-2-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		12	1,196,078	3	824,212	15	2,020,290
(登録ホテルを除く) ホテル	200室以上	24	2,138,531	12	1,068,631	36	3,207,162
	100室以上 200室未満	24	1,258,856	19	926,600	43	2,185,456
	50室以上 100室未満	17	458,191	11	301,109	28	759,300
	50室未満	7	39,020	10	48,501	17	87,521
合 計		72	3,894,598	52	2,344,841	124	6,239,439
旅 館		10	55,140	18	94,142	28	149,282
全 体		94	5,145,816	73	3,263,195	167	8,409,011

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設（55 施設）をもとに、延べ宿泊者に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（6,387,048 人）。

表 2-2-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の 年間実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	564,316	792,192	71.2	2,020,290	1,438,446
(登録ホテルを除く) ホテル	200 室以上	16	1,064,665	1,433,625	74.3	3,207,162	2,382,921
	100 室以上 200 室未満	11	421,518	508,330	82.9	2,185,456	1,811,743
	50 室以上 100 室未満	7	145,535	183,938	79.1	759,300	600,606
	50 室未満	6	31,040	37,133	83.6	87,521	73,168
	合 計	40	1,662,758	2,163,026		6,239,439	4,868,438
旅 館		6	23,337	43,459	53.7	149,282	80,164
全 体		55	2,250,411	2,998,677		8,409,011	6,387,048

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げ数値

c. 全施設年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、回答あり施設（84 施設）の年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-2-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-2-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の 年間外国人 延べ宿泊者数 (人泊) ※	② 回答あり 施設の 年間延べ 宿泊者数 (人泊) ※	③ 回答あり 施設の 外人延べ 宿泊者数 (%) ※	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推値 (人泊)	⑤ 全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人)
登録ホテル		12	289, 804	1, 196, 078	24. 2	2, 020, 290	488, 910
(登録ホテルを除く) ホテル	200 室以上	23	291, 393	2, 066, 736	14. 1	3, 207, 162	452, 210
	100 室以上 200 室未満	24	189, 452	1, 258, 856	15. 0	2, 185, 456	327, 818
	50 室以上 100 室未満	14	33, 829	384, 698	8. 8	759, 300	66, 818
	50 室未満	5	1, 371	36, 278	3. 8	87, 521	3, 326
合 計		66	516, 045	3, 746, 568		6, 239, 439	850, 172
旅 館		6	653	45, 058	1. 4	149, 282	2, 090
全 体		84	806, 502	4, 987, 704		8, 409, 011	1, 341, 172

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げ数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」について回答があった施設の数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設（53 施設）をもとに、外国人延べ宿泊者に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-2-10）に乗じて算出した。

表 2-2-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり施設の年間外国人 実人数 (人泊) ※	② 回答あり施設の年間外国人延べ 宿泊者数 (人泊) ※	③ 回答あり施設の 外国人 実人数比 (%) ※	④ 全施設の 年間外国人総 延べ宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間外国人実 人数 推計値 (人)
登録ホテル		9	122, 472	214, 167	57. 2	488, 910	279, 657
(登録ホテルを除く) ホテル	200 室以上	16	108, 385	163, 423	66. 3	452, 210	299, 815
	100 室以上 200 室未満	11	34, 711	42, 868	81. 0	327, 818	265, 533
	50 室以上 100 室未満	7	12, 534	18, 403	68. 1	66, 818	45, 503
	50 室未満	5	815	1, 371	59. 4	3, 326	1, 976
合 計		39	156, 445	226, 065		850, 172	612, 827
旅 館		5	308	641	48. 0	2, 090	1, 003
全 体		53	279, 225	440, 873		1, 341, 172	893, 487

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

※：「年間外国人総延べ宿泊者数」及び「年間外国人総実人数」について回答があった施設の数値

②国別外国人宿泊数

国別の外国人宿泊者数について回答が得られた施設は 86 施設であった。

国別の外国人宿泊者数は中国が全体の 35.0%と最も多く、次いで台湾 19.1%、香港 13.8%で、合わせて 67.9%を占めている。以下、タイ 7.9%、韓国 7.7%、米国 5.5%の順となっている。施設分類別に見ても、すべての施設タイプで中国が最も多くなっている。

表 2-2-12 国外、外国人宿泊者数

	登録 ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					旅館	全体		
		200 室 以上	100 室以上 200 室未満	50 室以上 100 室未満	50 室 未満	小計		回答人数 (人)	推計人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	12	23	22	17	5	67	7	86 施設	—	—
中国	56,268	96,165	38,619	8,417	327	143,528	433	200,229	311,489	35.0
台湾	32,244	47,713	23,915	5,546	156	77,330	112	109,686	170,634	19.1
香港	13,264	41,917	19,285	4,489	0	65,691	20	78,975	122,858	13.8
タイ	24,225	12,623	6,926	1,182	50	20,781	61	45,067	70,109	7.9
韓国	12,630	18,172	10,808	2,654	117	31,751	67	44,448	69,146	7.7
米国	18,820	7,421	4,906	678	22	13,027	10	31,857	49,559	5.5
シンガポール	4,449	3,503	2,406	288	47	6,244	10	10,703	16,650	1.9
オーストラリア	2,074	3,113	2,143	216	10	5,482	1	7,557	11,756	1.3
ベトナム	2,999	1,554	1,517	455	76	3,602	30	6,631	10,316	1.2
ドイツ	3,054	1,753	1,637	163	2	3,555	2	6,611	10,284	1.2
マレーシア	2,573	2,148	1,486	288	28	3,950	5	6,528	10,155	1.1
英国	2,368	2,403	1,193	180	1	3,777	3	6,148	9,564	1.1
インドネシア	2,513	1,680	1,122	395	50	3,247	24	5,784	8,998	1.0
フランス	1,500	1,879	1,327	137	1	3,344	3	4,847	7,540	0.8
フィリピン	26	1,442	496	537	0	2,475	13	2,514	3,911	0.4
カナダ	0	568	301	122	0	991	0	991	1,542	0.2
インド	8	219	14	9	2	244	0	252	392	0.0
イタリア	0	145	6	63	0	214	0	214	333	0.0
ロシア	28	48	17	48	0	113	0	141	219	0.0
スペイン	2	107	0	20	0	127	0	129	201	0.0
メキシコ	0	45	0	83	0	128	0	128	199	0.0
ブラジル	0	2	30	51	2	85	5	90	140	0.0
オランダ	16	0	22	31	0	53	0	69	107	0.0
フィンランド	0	0	0	43	0	43	0	43	67	0.0
ポーランド	0	0	0	35	0	35	0	35	54	0.0
スリランカ	0	0	0	8	0	8	11	19	30	0.0
スイス	0	0	0	13	0	13	0	13	20	0.0
スウェーデン	0	0	0	7	0	7	3	10	16	0.0
ハンガリー	0	0	0	0	0	0	4	4	6	0.0
ウガンダ	0	0	0	0	0	0	3	3	5	0.0
モンゴル	0	0	0	0	0	0	2	2	3	0.0
その他	1,182	1,423	1,295	703	4	3,425	11	4,618	7,184	0.8
合計	180,243	246,043	119,471	26,861	895	393,270	833	574,346	893,487	100.0

③修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成 28 年度に修学旅行団体を受け入れた宿泊施設は 16 施設（対有効回答 167 施設比 9.6%）である。学校数は 113 校、宿泊者数は 5,506 人である。前年度（116 校、5,543 人）に比べ、学校数は 3 校、宿泊者数は 37 人減少している。

学校分類別では、高校が校数（11 校減）、宿泊者数（422 人減）ともに減少した一方で、その他が校数（15 校増）、宿泊者数（92 人増）ともに増加した。中学校が校数（1 校増）、宿泊者数は（262 人増）とともに増加した。小学校は校数が 8 校減となったが、宿泊者数は 31 人増となった。

表 2-2-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1 校あたり 修学旅行 宿泊者数 (人)
登録ホテル		3	27	1,727	64
ホテル (登録ホテルを 除く)	200 室以上	4	7	442	63
	100 室以上 200 室未満	3	4	266	67
	50 室以上 100 室未満	0	0	0	0
	50 室未満	1	22	831	38
	計	8	33	1,539	47
旅 館		5	53	2,240	42
全 体		16	113	5,506	49

注：③＝②÷①

表 2-2-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数	学校数	宿泊者数
小学校	18	1,073	15	980	18	1,048	37	1,563	29	1,594
中学校	15	984	12	469	17	767	28	1,308	29	1,570
高 校	17	1,526	11	747	12	868	27	1,308	16	886
その他	27	1,019	17	591	35	1,301	24	1,364	39	1,456
全 体	77	4,602	55	2,787	82	3,984	116	5,543	113	5,506

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

全体では113校中45校（39.8％）が近畿地域から、33校（29.2％）が東海・北陸地域から、20校（17.7％）が関東・甲信越地域からの修学旅行団体である。

表 2-2-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分 \ 回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル	北海道・東北	2	0	0	2	0
	関東・甲信越	3	0	1	1	1
	東海・北陸	10	0	5	1	4
	近畿	8	3	2	0	3
	中国・四国	3	0	1	2	0
	九州・沖縄	0	0	0	0	0
	外国・不明	1	0	1	0	0
ホテル (登録ホテル含まず)	北海道・東北	3	0	2	1	0
	関東・甲信越	8	1	1	2	4
	東海・北陸	12	2	2	3	5
	近畿	4	0	2	0	2
	中国・四国	2	0	0	0	2
	九州・沖縄	2	0	2	0	0
	外国・不明	2	0	1	1	0
旅館	北海道・東北	1	0	0	0	1
	関東・甲信越	12	0	3	1	8
	東海・北陸	5	0	1	0	4
	近畿	33	23	4	1	5
	中国・四国	0	0	0	0	0
	九州・沖縄	0	0	0	0	0
	外国・不明	2	0	1	1	0
全 体	北海道・東北	6	0	2	3	1
	関東・甲信越	23	1	5	4	13
	東海・北陸	27	2	8	4	13
	近畿	45	26	8	1	10
	中国・四国	5	0	1	2	2
	九州・沖縄	2	0	2	0	0
	外国・不明	5	0	3	2	0
	合計	113	29	29	16	39

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

北海道・東北—北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県

関東・甲信越—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県・新潟県・長野県・山梨県

東海・北陸—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・福井県・石川県・富山県

近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県

中国・四国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県

九州・沖縄—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県・沖縄県

表 2-2-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道			2	137	3	153	1	31	6	321
青森県										
秋田県										
岩手県										
山形県										
宮城県										
福島県										
東京都			1	36	1	54	2	54	4	144
神奈川県	1	65			2	43	7	184	10	292
千葉県			4	134			1	94	5	228
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県							1	53	1	53
新潟県										
長野県					1	82	2	89	3	171
山梨県										
愛知県			1	98			2	50	3	148
岐阜県			3	181			4	97	7	278
三重県					1	21	2	62	3	83
静岡県			1	50	2	88	3	162	6	300
福井県	1	10			1	45	1	22	3	77
石川県	1	20							1	20
富山県			3	98			1	55	4	153
滋賀県										
京都府	26	1,499	3	91			4	103	33	1,693
大阪府			2	167			5	315	7	482
奈良県			1	43					1	43
和歌山県					1	24			1	24
兵庫県			2	69			1	10	3	79
鳥取県					1	187			1	187
島根県							1	25	1	25
岡山県										
広島県			1	148	1	19			2	167
山口県										
香川県							1	50	1	50
徳島県										
愛媛県										
高知県										
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県										
長崎県			2	171					2	171
鹿児島県										
沖縄県										
外国										
不明			3	147	2	170			5	317
合計	29	1,594	29	1,570	16	886	39	1,456	113	5,506

2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価

(名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

①調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

②調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女1,143名（名古屋市を除く）

③調査日時

平成29年3月21日（火）～26日（日）

④サンプリング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性別・年齢別の人口割合を元に、各カテゴリーのサンプル数を求めた（下表参照）。

インターネット調査の対象者

	男性								女性								合計
	男性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	74	2	12	17	10	12	13	8	76	6	9	6	14	13	17	11	150
関東	197	5	28	33	38	33	35	25	195	5	27	33	38	27	36	29	392
近畿	87	0	14	15	18	13	14	13	86	1	13	15	13	10	18	16	173
北陸・甲信越	37	2	6	4	8	6	5	6	39	2	6	7	3	6	9	6	76
東北・北海道	63	1	9	9	12	11	12	9	70	1	9	11	12	12	14	11	133
中国・四国	48	1	7	8	8	9	8	7	50	0	7	7	10	8	9	9	98
九州・沖縄	54	2	5	9	10	9	11	8	67	1	9	10	12	11	14	10	121
合計	560	13	81	95	104	93	98	76	583	16	80	89	102	87	117	92	1,143

注：各地域に含まれる都道府県は以下の通り

東 海—愛知県（名古屋市を除く）・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸—福井県・石川県・富山県
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県
 東 北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

①名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

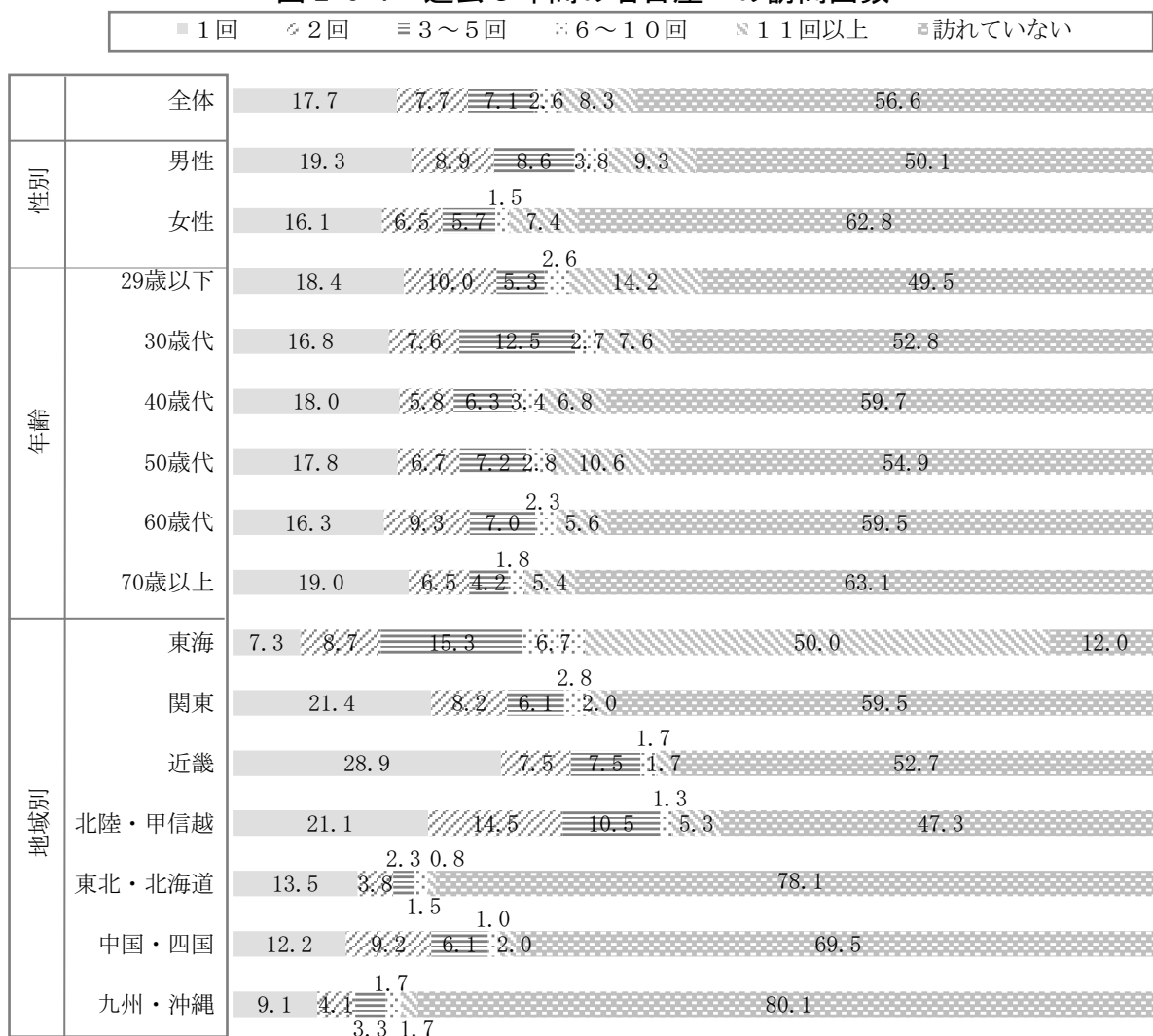
過去5年以内に名古屋を訪れた事がある人は有効回答者1,143人中496人で、割合は43.4%だった。訪問回数としては、「1回」が17.7%と多く、次いで「11回」「2回」「3～5回」の順となっている。

性別にみると、男性は訪れた割合が49.9%と半数近くを占め、女性より12.7ポイント高い。年齢別にみると、訪れた割合は29歳以下の世代で50.5%と比較的高くなっている。

地域別にみると「東海」では約9割が訪れており、うち「11回以上」が5割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは「北陸・甲信越」で半数以上となっている。

訪問回数は、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高い。

図 2-3-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



②名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で最も認知度が高いのは「名古屋城」で、87.8%が「知っている」と回答した。次いで「なごやめし」（55.9%）、「熱田神宮」（47.2%）、「東山動植物園」（47.2%）、「栄」（36.1%）となっている。

「名古屋城」は全ての層で最も認知度が高い観光資源である。

年齢別にみると、「全体」で認知度が高い「名古屋城」「熱田神宮」「東山動植物園」は年齢が高くなるほど認知度が増す傾向がある。

地域別にみると、「東海」の認知度が全般に高い。「東海」以外の地域は概ね「全体」と同じ傾向にある。

表 2-3-1 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、シボルトビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	名古屋まつり	にっぽんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない	
全体		87.8	14.3	22.1	47.2	21.4	23.7	16.5	16.9	13.7	10.8	25.4	47.2	36.1	20.3	2.7	8.5	55.9	9.6	8.8	12.3	0.6	7.6
性別	男性	87.5	15.2	22.7	50.5	25.7	27.5	16.6	17.1	14.6	11.6	27.7	49.1	41.4	22.3	3.2	8.9	53.9	10.4	8.8	12.5	0.7	7.5
	女性	88.0	13.6	21.6	43.9	17.3	20.1	16.5	16.6	12.9	10.1	23.2	45.5	31.0	18.4	2.2	8.1	57.8	8.9	8.9	12.2	0.5	7.7
年齢別	20歳未満	86.2	13.8	17.2	24.1	27.6	31.0	20.7	27.6	31.0	24.1	27.6	37.9	31.0	27.6	10.3	17.2	34.5	24.1	24.1	20.7	0.0	6.9
	20歳代	78.9	13.0	14.3	26.1	22.4	24.2	13.0	19.9	13.7	10.6	24.2	29.8	29.8	15.5	3.7	5.6	42.2	10.6	11.2	14.9	0.0	13.7
	30歳代	81.0	13.0	19.0	33.7	22.8	22.3	16.3	17.9	12.0	10.9	26.6	40.2	35.9	21.7	4.3	6.5	49.5	8.7	10.9	10.9	0.0	12.5
	40歳代	91.3	8.7	17.0	38.8	18.4	22.3	16.0	15.5	10.7	7.8	22.8	44.7	38.8	20.9	2.4	6.3	61.2	7.3	7.3	13.1	1.0	6.3
	50歳代	90.6	13.9	20.0	52.8	28.9	26.7	19.4	20.6	17.2	13.9	29.4	53.3	41.1	21.1	0.6	10.6	65.6	8.9	7.2	11.7	0.6	3.9
	60歳代	90.7	16.3	27.0	61.4	22.3	22.8	17.7	13.0	12.1	8.8	25.1	55.3	37.2	20.5	1.4	9.3	60.5	9.8	7.9	11.6	0.5	4.2
	70歳以上	92.9	22.0	36.3	72.0	12.5	23.2	15.5	13.7	14.9	11.9	23.8	59.5	33.3	20.2	3.0	11.3	57.1	10.7	6.5	10.7	1.8	6.5
居住地	東海	94.0	42.7	49.3	87.3	62.0	48.0	54.7	68.7	49.3	38.0	72.0	85.3	80.0	72.0	8.7	40.0	75.3	38.7	43.3	55.3	0.7	4.0
	関東	86.0	10.5	19.6	44.1	17.3	20.7	11.7	8.4	8.7	7.4	18.1	42.3	30.1	14.5	2.6	4.8	54.3	5.9	4.1	5.9	1.3	9.2
	近畿	88.4	11.0	19.1	48.0	24.3	22.0	15.0	11.0	9.8	8.7	20.8	44.5	37.6	18.5	2.3	4.6	54.9	7.5	4.0	7.5	0.6	5.2
	北陸・甲信越	86.8	9.2	23.7	42.1	17.1	27.6	13.2	19.7	9.2	7.9	30.3	56.6	36.8	15.8	0.0	1.3	52.6	3.9	1.3	6.6	0.0	7.9
	東北・北海道	84.2	11.3	16.5	33.1	6.8	15.8	9.8	8.3	8.3	5.3	19.5	32.3	24.1	3.8	0.8	2.3	49.6	4.5	2.3	3.8	0.0	8.3
	中国・四国	84.7	14.3	17.3	30.6	13.3	21.4	9.2	7.1	9.2	7.1	17.3	31.6	17.3	7.1	3.1	4.1	48.0	6.1	8.2	11.2	0.0	10.2
	九州・沖縄	91.7	3.3	9.9	38.0	5.8	14.0	2.5	4.1	4.1	2.5	7.4	43.0	27.3	9.1	0.0	1.7	53.7	0.8	0.8	0.8	0.0	7.4

b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れたと回答した回答者（496人）が訪問または経験したもののうち「名古屋城」（40.9%）の割合が最も高く、それに「なごやめし」（43.1%）、栄（31.7%）、「熱田神宮」（24.6%）、大須（20.2%）と続く。一方、「訪問した場所、または経験したものはない」の割合は18.3%だった。

上記の観光資源の訪問・体験状況に関しては男女共に同様の順位だった。一方で、「リニア・鉄道館」「トヨタ産業記念館」は男性が多く、「徳川園」「名古屋市科学館」「名古屋市美術館」は女性が多い傾向があった。

年齢別にみると、多くの観光地で20歳未満の訪問率が高くなっている。

地域別にみると、「名古屋城」「名古屋めし」「熱田神宮」は、「東海」居住者・その他の地域の居住者共に訪問率が高い。「名古屋市科学館」「名古屋港」「大須」は、「東海」での割合は高いが、その他の地域では10%程度以下となっている。

表 2-3-2 名古屋の観光資源の訪問・体験状況（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋名	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	
全体		40.9	9.7	11.7	24.6	10.1	9.9	9.3	10.9	7.3	4.8	16.1	17.1	31.7	20.2	3.2	5.6	43.1	5.4	4.8	5.0	2.8	18.3
性別	男性	39.8	8.6	10.4	22.9	11.5	11.8	9.0	9.0	5.7	4.7	14.7	15.4	33.3	19.7	3.2	6.1	43.0	5.4	6.5	6.5	2.2	17.6
	女性	42.4	11.1	13.4	26.7	8.3	7.4	9.7	13.4	9.2	5.1	18.0	19.4	29.5	20.7	3.2	5.1	43.3	5.5	2.8	3.2	3.7	19.4
年齢別	20歳未満	41.2	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	35.3	29.4	29.4	23.5	29.4	41.2	41.2	17.6	23.5	47.1	23.5	17.6	29.4	0.0	11.8
	20歳代	44.3	10.1	8.9	21.5	8.9	10.1	8.9	13.9	6.3	6.3	5.1	16.5	31.6	21.5	3.8	6.3	35.4	7.6	5.1	6.3	0.0	17.7
	30歳代	34.5	5.7	10.3	21.8	12.6	8.0	11.5	8.0	5.7	5.7	5.7	21.8	31.0	14.9	4.6	4.6	37.9	4.6	5.7	8.0	1.1	26.4
	40歳代	41.0	7.2	9.6	28.9	18.1	10.8	9.6	14.5	3.6	3.6	2.4	21.7	28.9	21.7	2.4	8.4	50.6	4.8	7.2	6.0	3.6	16.9
	50歳代	30.9	3.7	2.5	21.0	1.2	6.2	4.9	6.2	1.2	1.2	1.2	9.9	42.0	24.7	0.0	2.5	49.4	2.5	3.7	1.2	4.9	16.0
	60歳代	43.7	11.5	19.5	24.1	9.2	6.9	8.0	6.9	12.6	12.6	4.6	11.5	28.7	16.1	2.3	4.6	41.4	3.4	2.3	1.1	4.6	21.8
	70歳以上	54.8	19.4	17.7	32.3	6.5	16.1	9.7	11.3	9.7	9.7	6.5	19.4	24.2	17.7	3.2	3.2	43.5	6.5	1.6	1.6	3.2	9.7
居住地	東海	33.3	11.4	14.4	35.6	12.1	12.1	12.9	26.5	14.4	7.6	36.4	31.1	58.3	53.0	6.1	9.8	51.5	10.6	9.1	7.6	3.0	17.4
	関東	44.7	9.4	11.9	22.0	10.7	6.9	10.7	6.3	5.7	4.4	8.2	13.2	18.9	8.8	1.9	4.4	41.5	2.5	4.4	4.4	2.5	21.4
	近畿	42.7	6.1	9.8	19.5	8.5	9.8	4.9	2.4	6.1	4.9	9.8	9.8	24.4	7.3	2.4	6.1	41.5	4.9	2.4	2.4	2.4	15.9
	北陸・甲信越	40.0	2.5	7.5	15.0	2.5	7.5	2.5	2.5	0.0	0.0	10.0	15.0	32.5	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2.5	5.0	12.5
	東北・北海道	55.2	13.8	13.8	27.6	6.9	10.3	10.3	10.3	3.4	3.4	10.3	3.4	17.2	3.4	3.4	3.4	34.5	3.4	3.4	3.4	0.0	20.7
	中国・四国	46.7	20.0	16.7	13.3	23.3	20.0	13.3	10.0	6.7	6.7	13.3	16.7	13.3	6.7	6.7	6.7	36.7	13.3	6.7	13.3	3.3	20.0
	九州・沖縄	29.2	8.3	0.0	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	33.3	8.3	0.0	0.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	16.7

(3) 名古屋に対する評価

a. 名古屋への今後の訪問意向

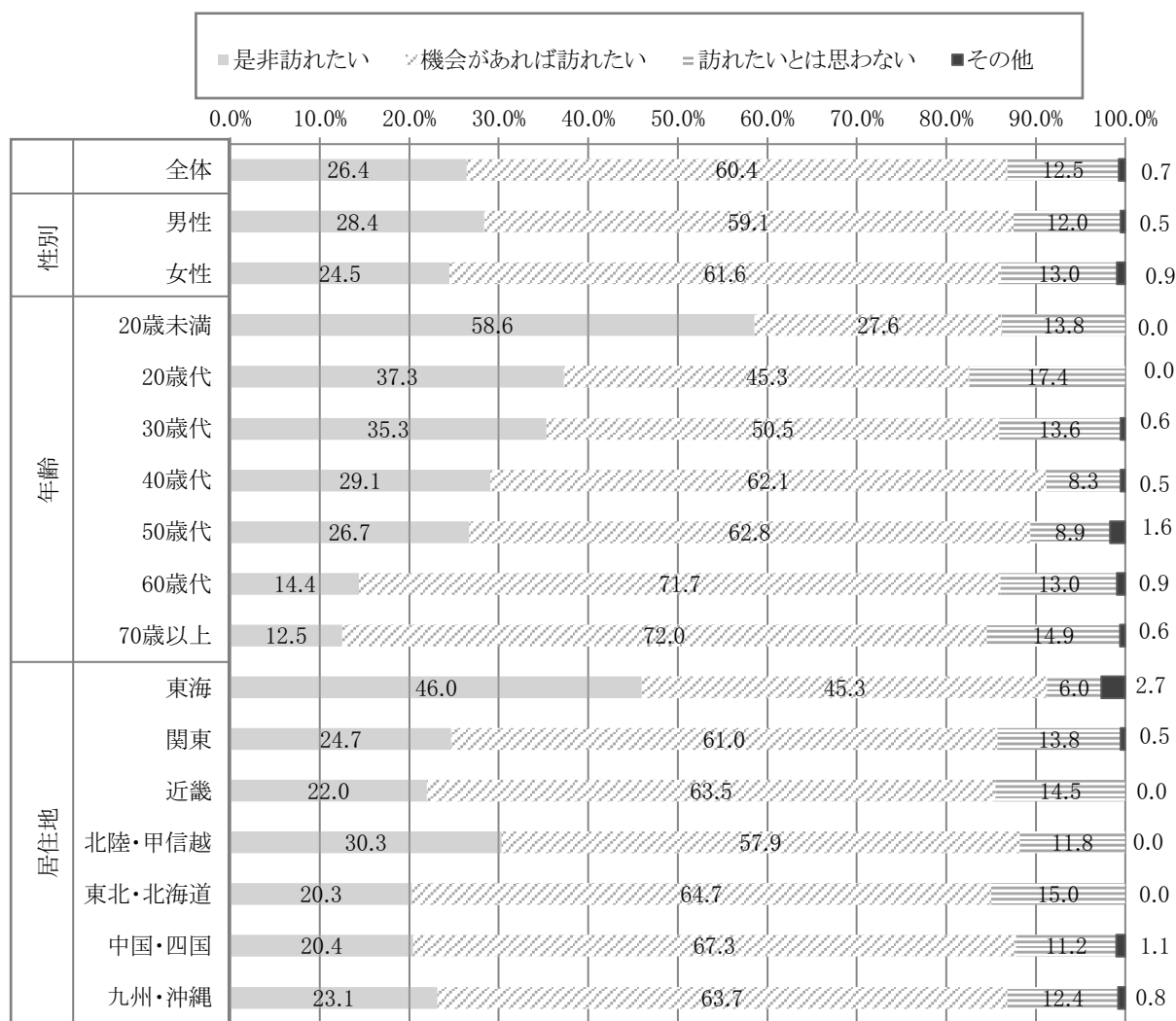
名古屋への今後の訪問意向は、「機会があれば訪れたい」が60.4%で最も高い。これに「是非訪れたい」(26.4%)を合わせて、86.8%の人に訪問する意向がある。

「是非訪れたい」「機会があれば訪れたい」を合わせた訪問する意向がある割合は、性別、年齢別、居住地別で差は見られない。

一方、「是非訪れたい」という強い意向は、年齢別では「20歳未満」が58.6%と飛び抜けて高い。それに、「20歳代」(37.3%)、「30歳代」(35.3%)と続き、年齢が若いほど訪問意向が強い傾向がある。

居住地別にみると「東海」が46.0%と最も高く、「北陸・甲信越」(30.3%)、「関東」(24.7%)と続いた。

図 2-3-2 名古屋への訪問意向



b. 訪れたい名古屋観光資源

今後の訪問意向がある回答者（992人）が訪問したい場所または経験したいものとしては、「なごやめし」（45.6%）と「名古屋城」（44.0%）が半数弱と人気が高かった。次いで人気の高い順に「熱田神宮」（24.7%）、「レゴランド・ジャパン」（24.5%）、「東山動植物園」（24.1%）、「徳川美術館」（23.6%）、「リニア・鉄道館」（23.5%）、「名古屋港」（21.5%）となっている。

性別でみると「リニア・鉄道館」と「トヨタ産業技術記念館」は男性の訪問意向が比較的高く、「ノリタケの森」「有松」は女性の訪問意向が比較的高かった。

年齢別にみると、「20歳未満」は多くの観光地への訪問意向を有しており、特に「名古屋市科学館」、「大須」、「文化のみち」、「有松」、「名古屋まつり」、「につぼんど真ん中祭り」、「名古屋おもてなし武将隊」は、他の年齢層と比較して訪問意向が高かった。

表 2-3-3 訪れたい名古屋観光資源（複数回答）

		名古屋城	徳川園	徳川美術館	熱田神宮	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋市科学館（プラネタリウムなど）	名古屋市美術館	名古屋市博物館	名古屋港（名古屋港水族館、ボートビルなど）	東山動植物園	栄（名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など）	大須（大須観音・大須商店街）	文化のみち（二葉館など）	有松（街並み、有松、鳴海絞会館）	（平成29年4月開業予定） レゴランド・ジャパン	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	名古屋おもてなし武将隊	その他	訪ねたい場所または経験したいものはない
全体		44.0	19.7	23.6	24.7	23.5	18.4	16.3	16.9	14.8	11.9	21.5	24.1	17.1	13.0	7.1	8.4	24.5	45.6	11.2	7.8	5.8	1.6	4.9
性別	男性	45.1	20.6	24.9	22.9	29.8	25.7	11.2	13.9	14.3	12.4	19.6	21.6	19.4	12.4	6.9	6.5	25.9	41.2	11.6	7.6	5.9	2.2	5.7
	女性	42.8	18.7	22.3	26.5	17.3	11.4	21.3	19.9	15.3	11.4	23.3	26.5	14.9	13.5	7.2	10.2	23.1	49.8	10.8	8.0	5.8	1.0	4.2
年齢別	20歳未満	52.0	20.0	28.0	20.0	24.0	36.0	28.0	44.0	24.0	24.0	40.0	28.0	32.0	32.0	24.0	24.0	44.0	36.0	36.0	36.0	20.0	0.0	4.0
	20歳代	49.6	15.0	15.8	17.3	20.3	14.3	10.5	24.1	12.8	10.5	25.6	23.3	18.8	9.0	5.3	6.8	29.3	41.4	13.5	10.5	6.0	0.8	7.5
	30歳代	50.0	20.9	18.4	21.5	27.2	18.4	16.5	15.2	11.4	10.8	25.3	23.4	16.5	8.9	8.9	7.0	31.0	44.9	14.6	11.4	8.2	0.6	5.1
	40歳代	48.4	19.7	19.7	22.3	18.1	18.6	14.4	15.4	9.6	9.0	20.7	22.3	19.7	14.9	4.8	7.4	30.9	56.4	11.2	5.9	5.3	1.6	3.7
	50歳代	37.9	15.5	16.8	27.3	27.3	19.9	17.4	16.8	13.0	10.6	19.3	18.0	16.8	15.5	4.3	5.0	27.3	42.9	6.2	3.7	5.0	2.5	6.8
	60歳代	36.8	18.4	31.9	28.6	20.5	17.3	17.3	12.4	17.8	11.4	20.0	28.6	15.1	14.1	8.1	11.4	13.5	46.5	7.6	4.9	3.8	1.6	5.4
	70歳以上	40.8	28.9	38.0	31.0	28.9	19.0	19.7	15.5	23.9	18.3	15.5	28.2	13.4	11.3	8.5	9.9	12.0	39.4	11.3	7.0	4.9	2.8	1.4
居住地	東海	32.8	19.7	19.0	26.3	30.7	18.2	22.6	37.2	16.1	16.8	39.4	43.1	37.2	34.3	8.8	10.9	38.0	34.3	13.1	11.7	5.8	0.7	2.2
	関東	45.2	19.3	20.5	25.9	25.0	17.6	15.5	11.0	13.1	8.9	17.0	19.0	14.9	9.8	7.4	8.6	22.3	47.6	12.2	8.9	5.4	1.5	7.1
	近畿	38.5	18.2	28.4	18.2	26.4	16.2	15.5	11.5	13.5	11.5	20.9	16.9	11.5	14.2	6.1	8.1	29.1	50.0	10.1	6.1	3.4	3.4	2.0
	北陸・甲信越	37.3	14.9	23.9	22.4	25.4	20.9	20.9	26.9	25.4	19.4	32.8	22.4	14.9	10.4	3.0	3.0	22.4	49.3	14.9	6.0	6.0	0.0	3.0
	東北・北海道	52.2	21.2	31.0	26.5	12.4	23.9	13.3	16.8	17.7	15.9	21.2	24.8	16.8	9.7	10.6	8.0	19.5	47.8	8.0	7.1	6.2	2.7	5.3
	中国・四国	44.2	22.1	26.7	24.4	20.9	27.9	19.8	17.4	14.0	12.8	16.3	27.9	10.5	4.7	8.1	10.5	23.3	47.7	12.8	8.1	10.5	1.2	4.7
	九州・沖縄	57.1	21.9	21.9	27.6	18.1	9.5	9.5	10.5	11.4	5.7	10.5	22.9	13.3	5.7	2.9	6.7	15.2	41.0	6.7	2.9	6.7	1.0	6.7

c. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は50.5%と半数を占め、「魅力を感じない」は13.8%と1割程度である。

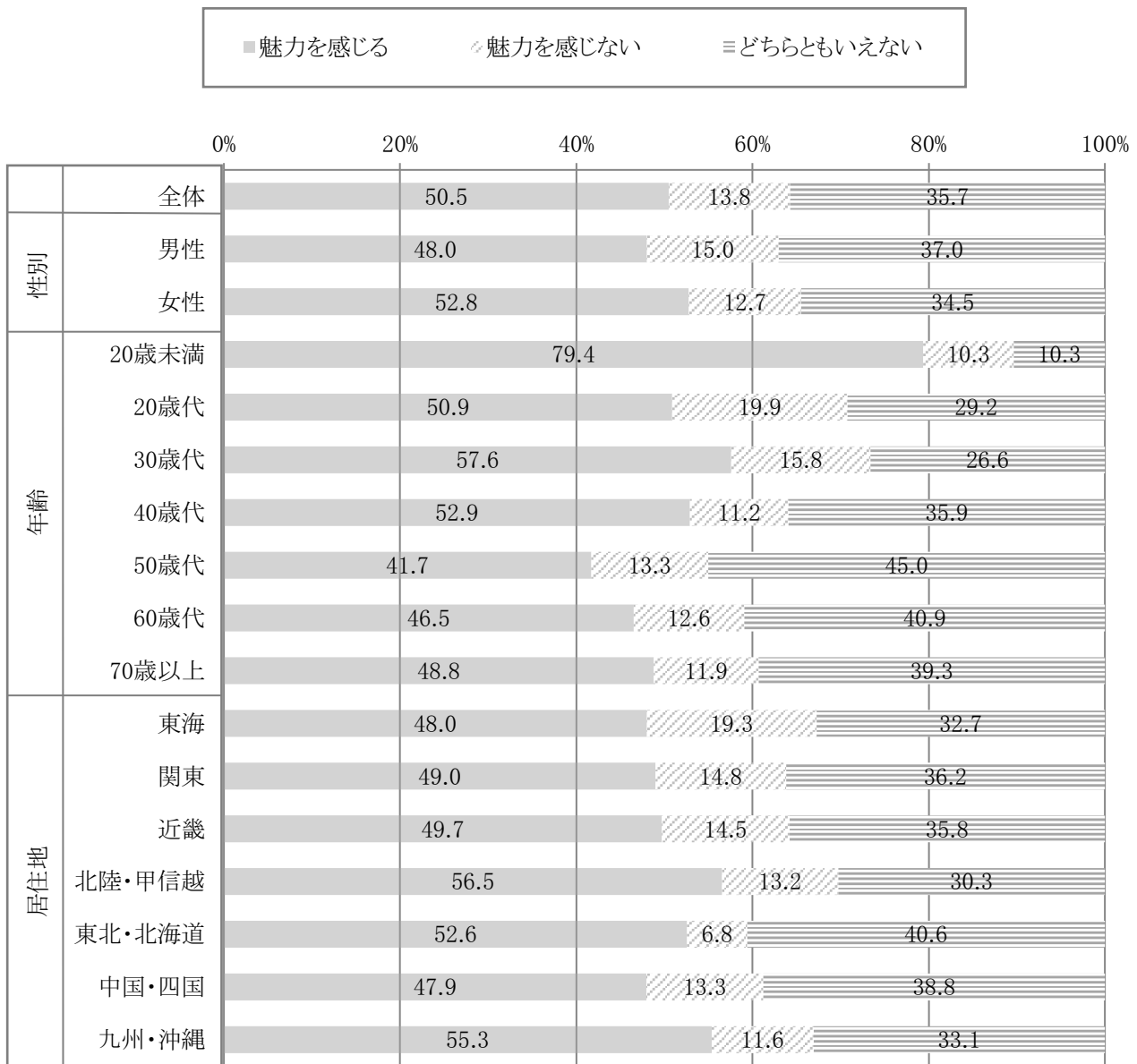
属性別にみても、すべての階層とも、「魅力を感じる」の割合は最も高く、次いで「どちらともいえない」となっている。

性別でみると、「魅力を感じる」の割合は、女性で男性より4.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「魅力を感じる」の割合は、20歳未満で飛び抜けて高い。

地域別にみると、「魅力を感じる」割合は、「北陸・甲信越」「九州・沖縄」「東北・北海道」で相対的に高い。

図 2-3-3 観光地としての魅力



d. 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

名古屋に観光地としての魅力を感じない（158 人）理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が 52.5%と最も多く、次いで「魅力ある観光施設が少ないこと」が 39.2%となっている。

表 2-3-4 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由（3 つまで回答）

		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	交通アクセスが良くないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと（観光施設の閉館時間が早いことなど）	観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
全体		52.5	17.7	5.7	39.2	12.7	5.1	10.1	3.2	5.1	3.8	5.1	9.5
性別	男性	54.8	17.9	8.3	46.4	13.1	3.6	9.5	3.6	4.8	3.6	7.1	4.8
	女性	50.0	17.6	2.7	31.1	12.2	6.8	10.8	2.7	5.4	4.1	2.7	14.9
年齢	20 歳未満	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20 歳代	46.9	25.0	15.6	50.0	6.3	3.1	12.5	3.1	0.0	3.1	3.1	6.3
	30 歳代	37.9	17.2	10.3	13.8	13.8	10.3	17.2	0.0	6.9	3.4	3.4	13.8
	40 歳代	47.8	13.0	4.3	39.1	8.7	0.0	0.0	4.3	8.7	8.7	8.7	4.3
	50 歳代	70.8	20.8	0.0	50.0	25.0	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	8.3
	60 歳代	59.3	7.4	0.0	48.1	11.1	3.7	11.1	7.4	14.8	0.0	7.4	11.1
	70 歳以上	60.0	15.0	0.0	40.0	10.0	5.0	15.0	0.0	0.0	10.0	10.0	15.0
居住地	東海	62.1	13.8	3.4	48.3	27.6	3.4	17.2	3.4	10.3	0.0	6.9	3.4
	関東	58.6	15.5	5.2	41.4	6.9	3.4	3.4	5.2	5.2	5.2	5.2	8.6
	近畿	44.0	16.0	4.0	44.0	8.0	8.0	12.0	0.0	0.0	4.0	4.0	8.0
	北陸・甲信越	40.0	20.0	10.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0
	東北・北海道	55.6	22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2
	中国・四国	38.5	38.5	15.4	30.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4
	九州・沖縄	42.9	14.3	0.0	35.7	7.1	7.1	14.3	0.0	14.3	14.3	7.1	14.3

(4) 観光振興について

①なごや観光ルートバスについて

a. なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要な観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス（メーグル）を「利用したことがある」割合は2.8%と僅かである。「知っていて、利用したい」

(3.3%)と「知っていはいたが、利用したいと思わない」(4.3%)を合わせても認知度は10.4%と1割程である。また、「知っていて、利用したい」

(3.3%)と「知らなかったが、利用したい」(57.0%)を合わせた今後の利用意向は60.3%と6割を超えている。

利用意向に着目すると、30歳代～40歳代、60歳代以上で割合が高い。地域別にみると、「東北・北海道」で利用意向のある割合が比較的高い。認知度は、一番高い「東海」でも19.4%と、まだ十分に周知はされていない。

図 2-3-4 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 28 年度における名古屋市主要観光施設（29 施設）への入込客数は合計で約 2,324 万人であり、前年度と比較すると約 10 万人（0.4%）減少している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が 701 万人と最も多く、次いで東山動植物園（241 万人）、名古屋港水族館（197 万人）、名古屋城（192 万人）、名古屋市科学館（138 万人）の順となっており、直近 5 年において、この 5 施設が上位 5 施設となっている。

施設別に前年度の入込客数と比較すると、主要観光施設 29 施設の中では、名古屋市美術館の入込客が前年度比 107.5%増と倍増した。これは「生誕 130 年記念 藤田嗣治展-東と西を結ぶ絵画」「あいちトリエンナーレ 2016 虹のキャラヴァン サライ 創造する人間の旅」といった大型の展覧会が続いたことが要因であると考えられる。

入込客の多い上位 5 施設の中で最も増加率が高かったのは名古屋城であり、前年度比 10.3%増となった。

②名古屋市主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数は表 3-1-2 の通りである。月毎の入込客数の変動が顕著な施設とその理由は、以下の通りである。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月から 4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 10 月から 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

有松・鳴海絞会館は、絞まつりが開催される 6 月の入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般的に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多い。

美術館や博物館の入込客客数のピークはまちまちで、時期ではなく開催される展覧会によって入込客が変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

施設 \ 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
名古屋城	1, 472, 305	1, 657, 370	1, 641, 787	1, 740, 178	1, 919, 479
東山動植物園	2, 079, 896	2, 228, 650	2, 271, 248	2, 583, 986	2, 408, 400
東山スカイタワー	277, 652	268, 511	268, 517	314, 000	284, 399
名古屋テレビ塔	251, 384	242, 286	269, 852	325, 462	299, 953
熱田神宮	6, 773, 935	6, 852, 153	6, 760, 955	7, 063, 539	7, 006, 452
名古屋港	416, 175	388, 015	351, 458	490, 740	416, 427
名古屋市科学館	1, 303, 372	1, 436, 926	1, 394, 003	1, 382, 275	1, 379, 293
徳川美術館	193, 047	182, 441	183, 263	253, 848	231, 155
名古屋市博物館	410, 718	456, 102	426, 518	437, 550	451, 666
東谷山フルーツパーク	538, 245	469, 843	520, 078	483, 182	480, 833
農業文化園・戸田川緑地	1, 281, 235	1, 188, 451	1, 135, 295	1, 119, 575	1, 156, 780
でんきの科学館	301, 239	292, 131	293, 669	313, 455	243, 722
名古屋市美術館	315, 204	386, 428	273, 428	151, 513	314, 351
名古屋港水族館	1, 990, 050	2, 040, 420	1, 967, 223	2, 051, 785	1, 967, 486
トヨタ産業技術記念館	284, 919	320, 366	387, 873	413, 435	430, 956
白鳥庭園	117, 761	116, 828	132, 241	150, 944	159, 153
市政資料館	69, 570	75, 335	70, 917	72, 322	78, 375
名古屋能楽堂	171, 951	173, 848	169, 457	170, 794	174, 398
愛知県美術館	795, 538	946, 258	780, 788	787, 894	885, 115
名古屋市農業センター	629, 486	655, 219	632, 986	681, 297	663, 849
有松・鳴海絞会館	170, 035	168, 531	177, 381	177, 335	169, 389
久屋大通庭園フラリエ（旧 ランの館）	134, 638	124, 485	353, 531	621, 847	632, 356
名古屋ボストン美術館	319, 008	165, 634	183, 281	142, 590	196, 006
ノリタケの森	356, 529	336, 994	352, 890	357, 730	329, 167
ブルーボネット	70, 780	64, 089	51, 019	53, 211	52, 147
徳川園	248, 542	233, 203	285, 957	320, 341	320, 335
文化のみち二葉館	34, 749	33, 485	35, 942	37, 555	34, 085
スカイプロムナード	103, 014	102, 863	96, 359	99, 395	91, 598
リニア・鉄道館	679, 272	592, 191	530, 982	546, 491	463, 378
合計	21, 790, 249	22, 199, 056	21, 998, 898	23, 344, 269	23, 240, 703

注 1：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

注 2：ランの館は平成 26 年 3 月に閉館し、久屋大通庭園フラリエとして平成 26 年 9 月に開館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

施設 \ 年月	平成 28 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城	231,656	186,939	137,837	135,573	237,219	130,596	175,062	153,806
東山動植物園	298,043	382,024	156,790	110,640	214,869	131,100	300,597	286,704
東山スカイタワー	35,821	39,373	14,684	15,535	29,526	14,640	32,035	31,262
テレビ塔	21,004	27,962	20,993	23,918	33,823	23,304	27,534	24,793
熱田神宮	208,480	245,711	422,286	213,648	189,783	178,784	236,919	268,179
名古屋港	35,847	51,631	28,405	39,416	66,798	38,113	40,121	37,036
名古屋市科学館	93,465	123,840	96,145	111,272	189,767	85,397	85,553	110,834
徳川美術館	19,882	27,456	15,873	17,510	28,185	15,886	21,841	23,576
名古屋市博物館	17,662	32,174	28,732	28,190	70,356	77,969	27,242	63,101
東谷山フルーツパーク	133,058	82,365	19,293	18,297	19,318	24,564	50,289	34,119
農業文化園・戸田川緑地	118,645	210,353	75,510	98,557	97,985	85,399	129,072	82,167
でんきの科学館	21,417	24,672	20,144	27,982	48,002	26,432	23,101	0
名古屋市美術館	16,212	37,579	53,705	12,735	30,592	33,753	43,665	11,634
名古屋港水族館	130,301	196,523	127,160	204,498	383,819	170,572	141,383	110,586
トヨタ産業技術記念館	33,754	35,724	36,686	39,297	47,655	37,685	39,135	38,228
白鳥庭園	13,124	16,552	6,989	6,387	4,430	7,708	16,040	47,973
市政資料館	6,738	6,111	5,642	5,632	5,089	5,715	9,120	8,736
名古屋能楽堂	12,166	14,729	17,711	17,796	10,622	16,890	11,847	17,792
愛知県美術館	68,541	76,897	35,365	50,231	16,682	22,590	25,926	42,713
名古屋市農業センター	40,553	54,615	20,783	21,058	21,947	22,725	34,857	95,629
有松・鳴海絞会館	7,738	11,164	87,012	7,181	6,890	7,021	10,585	9,247
久屋大通庭園フラリエ	76,599	88,229	87,502	38,218	39,144	32,662	56,832	48,613
名古屋ボストン美術館	14,351	18,892	17,041	24,436	28,225	11,357	17,010	18,360
ノリタケの森	25,200	34,709	23,190	28,544	29,753	24,167	34,838	37,982
ブルーボネット	8,370	13,827	4,280	3,416	2,104	2,974	8,171	3,469
徳川園	35,186	32,363	18,801	18,839	22,713	18,397	31,827	54,118
文化のみち二葉館	2,285	2,981	2,276	1,938	2,301	2,017	4,526	3,444
スカイプロムナード	6,549	8,256	6,178	8,167	9,792	8,225	8,305	7,551
リニア・鉄道館	34,208	43,027	34,351	44,199	65,586	39,612	38,049	33,627
全体	1,766,855	2,126,678	1,621,364	1,373,110	1,952,975	1,296,254	1,681,482	1,705,279

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設の選定しており、29 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 28 年 12 月	平成 29 年 1 月	2 月	3 月	合計	備考
名古屋城		107,187	116,859	117,762	188,983	1,919,479	
東山動植物園		49,302	95,398	110,001	272,932	2,408,400	動物園エリアが 12 月 11 日から 1 月 12 日まで休園
東山スカイタワー		9,209	19,475	11,436	31,403	284,399	
名古屋テレビ塔		30,574	21,981	18,875	25,192	299,953	
熱田神宮		189,654	4,376,079	252,416	224,513	7,006,452	
名古屋港		30,141	17,527	9,574	21,818	416,427	
名古屋市科学館		123,122	132,410	109,835	117,653	1,379,293	
徳川美術館		6,195	10,207	16,852	27,692	231,155	
名古屋市博物館		12,625	37,713	41,723	14,179	451,666	
東谷山フルーツパーク		18,608	16,721	24,313	39,888	480,833	
農業文化園・戸田川緑地		47,652	50,366	51,837	109,237	1,156,780	
でんきの科学館		0	0	22,112	29,860	243,722	
名古屋市美術館		7,904	14,287	40,179	12,106	314,351	
名古屋港水族館		129,951	103,008	97,967	171,718	1,967,486	
トヨタ産業技術記念館		25,734	27,743	31,499	37,816	430,956	
白鳥庭園		14,759	8,092	6,516	10,583	159,153	
市政資料館		5,930	5,002	5,533	9,127	78,375	
名古屋能楽堂		11,340	12,537	13,835	17,133	174,398	
愛知県美術館		40,046	140,177	187,403	178,544	885,115	
名古屋市農業センター		22,160	21,099	65,350	243,073	663,849	
有松・鳴海絞会館		3,836	4,436	6,296	7,983	169,389	
久屋大通庭園フラリエ		60,233	34,274	28,697	41,353	632,356	
名古屋ボストン美術館		11,310	6,244	23,259	5,521	196,006	
ノリタケの森		23,216	19,681	19,857	28,030	329,167	
ブルーボネット		1,053	0	0	4,483	52,147	12 月 26 日から 2 月末日まで休園
徳川園		17,470	16,700	20,438	33,483	320,335	
文化のみち二葉館		1,912	1,478	3,270	5,657	34,085	
スカイプロムナード		11,242	5,226	4,264	7,843	91,598	
リニア・鉄道館		22,613	30,909	28,881	48,316	463,378	
合 計		1,034,978	5,345,629	1,369,980	1,966,119	23,240,703	

(2) 名古屋のまちの印象（自由回答より）

観光入込客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見が上げられた。

<良い印象>

【観光施設・観光スポット】

- ・名古屋城のガイドが凄くよかった。（女性 60代）
- ・楽しい所がたくさんあって、行ってみたい所も沢山まだまだあります。名古屋城の本丸御殿が早く完成して一層魅力を増して欲しいと思います。（女性 40代）
- ・名古屋おもてなし武将隊を見てみたいと思っていたので、見られて良かったです。なかなか見ごたえがありました。（女性 60代）
- ・前回来た時よりも水族館の内容が良くなっていて楽しめました。（女性 40代）
- ・熱田神宮は想像より大きいと思います。咲いている梅が沢山あってきれいです。交通も便利だと思います。（女性 20代）
- ・熱田神宮の自然がいっぱいなところが良い。（男性 20代）
- ・水族館は生き物や動物が沢山いて楽しかったし、生息している環境や生態についてとても分かりやすかったです。大変満足！また来たいと思います。（女性 10代）
- ・ペンギンの種類が多くて最高です。（女性 30代）
- ・美術館・科学館共に良かったです。カフェが沢山あり嬉しいです。（女性 40代）
- ・プラネタリウムすごく良かったです。（女性 30代）

【行・催事、イベント】

- ・イベントに行くと楽しく、興味深いものが多いです。（女性 40代）

【風景、景観】

- ・栄の街並み、久屋大通公園は緑があって素敵。（女性 20代）
- ・美しいし綺麗な街並みだと思います。（女性 40代）
- ・町がいつもきれいなので、このまま保って欲しいです。（女性 50代）
- ・街並みはゴミも少なく良かったです。（女性 20代）
- ・名古屋城の周辺がとても良く美しい。（女性 50代）

【歴史との融合】

- ・とても都会な部分と歴史的な物が沢山あります。（女性 40代）
- ・食事が美味しく、歴史的な建物等がとても多いので大変楽しむことが出来ました。近代的なイベントもあるので2つの融合性が良いなと思いました。（女性 20代）

- ・歴史がある場所が好きなのでとても楽しい。（女性 20代）
- ・都会と歴史が融合している。（男性 20代）

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・信号が多い。名古屋の公園特に中川区の万場公園のセコイアも見事です。空も朝夕素晴らしい。すっかり名古屋が気に入りました。バラエティに富み楽しい。
（女性 60代）
- ・歩道が広くて歩きやすい。街中に色々と集まっていて便利。（女性 50代）
- ・便利な町だと思います。レジャーもショッピングも病院も揃っていて、名古屋に来れば何でもできる印象です。（女性 40代）
- ・個性的な食べ物、文化、歴史的施設があり、魅力的な町だと感じます。（男性 40代）
- ・名古屋周辺に新しいビル等続々できているので、これから楽しみです。（男性 50代）
- ・名駅前の発展は凄い。（男性 20代）
- ・せっかく人口も多くにぎわっているので、電車がもっと発達して、街並みもきれいだと良いと思います。（女性 20代）
- ・駅周辺がとても発展していて予想以上だった。中心部の近くに歴史的な建物があって行きやすかった。（男性 20代）
- ・早々変化していく名古屋。地元に住んでいますが、期待感が大きいです。
（女性 60代）
- ・活気がある。にぎわっている。（女性 10代）

【名古屋グルメ】

- ・何を食べても美味しかった。（女性 60代）
- ・食べ物は色々あっていいと思います。（女性 40代）
- ・名古屋飯が美味しかった。（女性 30代）
- ・グルメが楽しめる。（男性 20代）
- ・味噌カツが美味しかったです。（男性 10代）
- ・とても楽しくてご飯が美味しいです。（女性 30代）
- ・美味しいものがたくさんあっていいなと思います。モーニング充実していていいなと思います。（男性 30代）
- ・名古屋飯が好きで食べ歩きしている。名古屋が大好きです。（女性 40代）

【名古屋人、気質】

- ・皆様が親切で分かりやすく話しやすい方が多い。おおらかな雰囲気を感じます。
（女性 60代）

- ・名古屋の人はあまり他人に干渉してこないのよい。（女性 50 代）
- ・地下鉄にボランティアの案内人がいて親切でよかった。（男性 60 代）
- ・人が皆親切。（男性 10 代）
- ・やさしい人が多い。（男性 20 代）

【道路・道路交通】

- ・街並みがきれいで道路も広く、自転車のマナーが良いことに驚きました。
（女性 20 代）
- ・道路が広くて運転もしやすい。（女性 50 代）
- ・名古屋は車の運転が荒いから交通事故に気を付けてと言われて来たが、信号のない横断歩道でも車が停まってくれ、とても親切な運転手が多いと思いました。
（女性 40 代）
- ・駐車場も空いていて道も広くて走りやすい。（女性 40 代）
- ・交通の便がよくてどこにでも行ける。（女性 60 代）

【公共交通】

- ・路線バスが安心して乗れてよかった。電車の便も良いと思った。（男性 20 代）
- ・交通についてはバス等が町の隅々まであり利用しやすいと思う。（男性 10 代）
- ・公共交通の利便性が良いです。（女性 40 代）
- ・交通の便利が良くて移動しやすい。（女性 20 代）
- ・交通便がとても良い。（男性 20 代）

【その他】

- ・子ども連れの方々が多くて、それに向いている施設も多くてよい。（女性 30 代）
- ・子連れで動きやすく、公園とファッション、買い物同時に行けて良い。
（女性 30 代）
- ・子ども用のトイレの充実。（女性 40 代）
- ・名古屋名物がたくさんあり、特徴的。（女性 20 代）
- ・観光資源が非常に多い。（男性 30 代）
- ・並木がきれい。（男性 60 代）
- ・色々レジャー施設があり 1 日中楽しめるなと思いました。（女性 20 代）
- ・想像しているよりも大きい街で、感動するものが多い。（女性 50 代）

＜不満な点、要望＞

【観光施設・観光スポット】

- ・名古屋にはあまり歴史的な名所がないので、観光という目線では楽しみが少ないように思います。（女性 50 代）
- ・買い物がメインすぎて観光できる場所がない。リピートして来ようと思うところがない。（女性 30 代）
- ・名古屋は観光スポットが少ない街として取り上げられているので、ハリーポッターワールドとか造ってほしいです。（女性 50 代）
- ・ショッピングとしては便利だが、特に観光したいところがない。（女性 20 代）
- ・遠くから来た人に紹介できる所がない。（男性 30 代）
- ・観光スポットがバラバラに点在しているイメージ。観光や散歩のモデルルートを作って欲しい。車でないと行けない場所もあるので、ツアーを作って欲しい。（女性 20 代）
- ・見どころが1点に集中していないので、観光するのに移動が多い。（女性 30 代）
- ・観光地相互間が離れすぎまたは、移動が不便。自転車のシェアサービス(ICカード式を使用)を市内観光各所に設置して、広い道路を生かすのもあり。（男性 20 代）
- ・名古屋城の近くにご飯を食べるところを増やして欲しい。（女性 70 代）
- ・都会だが名古屋城に昨日夕方行ったら4時半までで奥まで入れなかった。閉門が早すぎる。（女性 60 代）
- ・名古屋城のイベントが少ないので増やしてほしい、武将隊の演武をやる時、天候に左右されるので屋根があると良い。（女性 40 代）
- ・名古屋城は観光客が多いにもかかわらず、休憩する場所、飲食する場所が少ない。（女性 40 代）
- ・名古屋城に行ってもカフェとかゆっくりできる所がない。（女性 30 代）

【公共交通】

- ・地下鉄代が全国的にみても高いと思います。（女性 60 代）
- ・バス等車椅子で乗車拒否される。福祉パス等必ず通す(見せるだけではダメ)ように言われた。（女性 50 代）
- ・シニア料金は市内の人だけなので、他の県もいれてほしい。交通費も高くついているのにちょっと不満です。（女性 50 代）
- ・バス停の屋根がもっと多くの場所にほしい。（男性 40 代）
- ・バスの回数を増やして欲しい。1時間に1本では足りないよ。（女性 60 代）

- ・電車でのエレベーターでの利用が不便でした。特に名古屋駅からの東山線はエレベーターが遠くて大変でした。（女性 30 代）
- ・名古屋駅の地下鉄東山線から上がってくる階段の所にエスカレーターをつけて頂きたいです。魅力たくさんある名古屋なので PR 頑張ってください。（女性 30 代）
- ・名古屋駅の東山線から JR の地上へ上がる際(テルミナ→タカシマヤ)の階段がしんどいのでエスカレーターをつけて欲しい。（女性 20 代）
- ・地下鉄のエレベーターが不便。ベビーカーがあると大変です。（女性 40 代）

【道路、道路交通】

- ・自転車用道路整備を進めていって下さい。自転車が車道を走ると危険。（男性 40 代）
- ・中心部のアクセス移動手段の細いものが整備されると良い。（男性 40 代）
- ・車が多い。車線が多くてどこを走っているか分からない。（男性 40 代）
- ・高速道と一般道を一度に案内され、分かりにくかった。（女性 50 代）
- ・車が多いせいか車線変更がしにくい。分かりにくい。（男性 30 代）

【駐車場】

- ・駐車料金をもっと安くして欲しい。（男性 70 代）
- ・障害者の駐車場が分かりにくい。施設によって無料のところと有料のところがある。（女性 50 代）
- ・駐車料金が安い(上限がない)。（女性 50 代）
- ・駐車場を増やして欲しい。（全ての施設）駐車場の料金高いし打ち止め料金の設定をしてほしい。今街中の駐車料金に上限があることが常識なのに、市営とか公営は遅れていると思う。（男性 40 代）
- ・名古屋の駐車場（道路で土・日は駐車可になる所）の場所が、分かるようにして欲しい。（女性 40 代）
- ・イベント時など駐車場が少ないように感じる。（男性 30 代）

【案内、表示】

- ・公共施設など人の多く集まる場所の時刻表示に乗り場の案内の、公共交通の案内が欲しい。（男性 60 代）
- ・皆さん地下にもぐってしまうので、地上に出すような努力を。（男性 40 代）
- ・名古屋駅の地下鉄がやっぱりわかりにくいです。（女性 40 代）

- ・電車の乗換等もっと分かりやすくできるといいなど。看板が小さかったりして市内の人間でも分かりづらく、利用しにくいかなと思います。（女性 30 代）
- ・ホームページが弱く、インバウンド対策がされていない。行きたい所が見つからない。道案内が不親切。（男性 40 代）
- ・わかりやすい看板、案内が欲しい。駅の中の案内はわかりにくい。（女性 60 代）
- ・名古屋駅のロッカーが分かりにくい。（女性 50 代）
- ・名駅がわかりにくいので、移動や乗り換えをしやすくして欲しいです。（女性 40 代）

【宣伝、告知】

- ・歴史も観光施設もあるのに、全国行きたい所ワースト 1 なのはアピールの仕方等に問題あると思います。（男性 30 代）
- ・徳川美術館で素敵なイベントが開催されているのに、周囲はあまり気付いていない印象を受けます。宣伝があまりされていない。（女性 20 代）
- ・PR が下手ですね。東山動植物園・名古屋港水族館・名古屋市科学館は日本一なのでどんどん頑張ってください。（女性 40 代）
- ・素晴らしいものがたくさんある。もっと PR しても良いのでは！（男性 50 代）
- ・良いイベントがあっても PR するのが下手。（女性 20 代）
- ・ノリタケの森も知らなかったのも、もっと知名度を上げればよいのに。（女性 60 代）

【名古屋グルメ】

- ・モーニング(小倉トースト、セット等)に期待していたのに、どこに行ったらよいか分からなかった。食文化が面白いので力を入れてどこの駅前でも名古屋のモーニングが楽しめるといい。（女性 40 代）
- ・きしめんをもう少し安くして欲しい。なごやめしの種類を増やしたらどうか。（男性 30 代）

【環境】

- ・都会だなんて感じます。ただ川が汚い。（女性 50 代）
- ・川の臭いが汚いので残念。（女性 50 代）
- ・街路樹少なく殺伐としている。住宅や街の緑地やガーデン作りが貧弱すぎて住む気や訪れる気になれない。（男性 50 代）

【その他】

- ・大きなスポットだけでなく地元のお店の MAP なんかがあったら楽しいのかも？
（女性 30 代）
- ・大須のように円頓寺商店街（日本最古）でイベントをやってみては。
（女性 30 代）
- ・神宮前の商店街に活気がないので、活気を戻して欲しい。（女性 60 代）
- ・錦 3 丁目、道路にゴミがいっぱい落ちていて、目立ちました。（女性 60 代）
- ・ゴミ箱が少ない。ゴミは持ち帰るのが当たり前だけど、観光で名古屋へ来てくださっている方のゴミは名古屋で捨てていただいていた方がいいのでは。（女性 40 代）
- ・夜のお店が早く閉まることと、バスも終わるのが早いのが残念。（女性 50 代）
- ・商業施設が増えてきてとても良いと思います。少し公衆衛生が悪いと感じられるところがあるので、そこを改善頂けると良いと思います。（女性 10 代）
- ・名古屋駅での自転車の駐輪スペースをもっと増やしてほしい。（男性 50 代）

名古屋市観光客入込客数調査 調査票

1 平成 28 年度の入込客数(入場者数)(平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで)

.....人

2 平成 28 年度の入込客数のうち名古屋市内外からの入込客数の割合

市内 概ね.....割 市外 概ね.....割

観光入込客数の公表は、観光地点の中分類ごとの総計とし、ご回答いただいたデータについて個別には公表しません。しかし次回以降の調査について、施設・事業別入込客数の公表の可能性をお尋ねします。(いずれかに○を付けてください)

公表は可能 条件付で公表できる 公表には支障がある

条件(.....)

1 年間(年度)の入込客数(入場者数)の集計取りまとめ時期は、いつごろでしょうか。

.....月 (上旬・中旬・下旬)頃

その他ご意見

施設名または行事名(観光地点名)

回答部署名および担当者氏名等

.....

電話.....FAX.....

平成28年度 名古屋市観光密着動向調査

(調査日：平成 年 月 日)

名古屋文化交流局 観光推進室

調査場所：

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか(出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

1 名古屋市内	2 名古屋市を除く愛知県	3 岐阜県	4 三重県
5 静岡県	6 その他の都道府県(具体的に)		

問2 今回、名古屋を訪れた(今回の名古屋への旅行)主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

1 観光施設の見学	2 ショッピング(非日常の買物、ウインドショッピングを含む)
3 観劇・コンサート	4 イベント(参加・鑑賞)
5 飲食	6 その他の娯楽行為(具体的に)
7 商用・公用	8 婚省・冠婚葬祭
9 大会・学会・国際会議への出席・参加	10 その他(具体的に)

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何か。該当するものをすべて○印をつけてください。

1 雑誌・新聞をみて	2 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて
3 テレビやラジオ番組の情報から	4 インターネットホームページの情報から
5 友人・知人に薦められたから	6 前に来たことがあり良かったから
7 駅や電車内のポスター・広告	8 特になし
9 その他()	

問4 今回の訪問(今日のお出かけ)で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

1 名古屋城	2 トヨタ産業技術記念館
3 ノリタケの森	4 徳川美術館
5 徳川園	6 熱田神宮
7 白鳥庭園	8 東山動植物園
9 東山スカイタワー	10 名古屋テレビ塔
11 名古屋市美術館	12 愛知県美術館
13 名古屋ボストン美術館	14 名古屋市科学館
15 でんきの科学館	16 名古屋博物館
17 久屋大通庭園フラリーエ(旧ランの館)	18 名古屋港水族館
19 名古屋港	20 シートレインランド
21 有松・鳴海校会館	22 ミッドランドスクエアなどの高層建築物
23 リニア・鉄道館	24 その他()

問5 今回の名古屋訪問(名古屋への旅行)はパッケージ旅行ですか。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金もお答えください。(費用が市内のみか、市外分を含むかを選択)

1 パッケージ旅行 およそ()円くらい()円くらいのみ	もしくは	□市外分含む
2 パッケージ旅行ではない		

問6 今回の名古屋訪問(今回の名古屋への旅行)における1人あたりのご予算をお答えください。パッケージ旅行の方は、パッケージ料金以外の費用をお答えください。

①市内での交通費(都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます)。

およそ()円くらい

②市内での宿泊代(市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額)。(日帰りの方、宿泊施設に泊まらない方、名古屋市以外に宿泊の方は、該当するところにレを記入してください。)

およそ()円くらい
□宿泊しない(日帰り) □友人、知人の家に宿泊 □名古屋市外に宿泊

③市内でのおみやげ代。

およそ()円くらい

④市内での飲食代(パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額)。

およそ()円くらい

⑤市内での入場料(観光施設等の入場料の合計額)。

およそ()円くらい

⑥市内でのその他費用。

およそ()円くらい

問7 から問13については、名古屋市外からお越しの方のお答えください。

問7 今回の訪問(旅行)での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

1 大変満足	2 ほぼ満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
--------	--------	------	--------	------

※2枚目に続きます

問8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	はじめて	2	2回目	3	3回目	4	4～9回目	5	10回目以上
---	------	---	-----	---	-----	---	-------	---	--------

問9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

1	JR	2	名鉄電車	3	近鉄電車	4	自家用車
5	航空機	6	路線バス	7	観光バス	8	その他（ ）

問10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

1	名古屋市内のみ	2	長久手・モリカハ・ナガ方面	3	明治村・大山方面
4	瀬戸・小原方面	5	知多・常滑・セントア方面	6	豊田・岡崎・足助方面
7	蒲郡・西浦・三谷方面	8	豊川・鳳来寺方面	9	豊橋・伊良湖方面
10	岐阜・関ヶ原方面	11	多治見・恵那・中津川方面	12	下呂・高山方面
13	長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	14	伊勢・志摩方面		
15	その他（ ）				

問11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神社等）
2	産業観光・ものづくりの施設（トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森等）
3	レジャー施設（動植物園・水族館・科学館等）
4	都心部でのショッピングビルや街歩き（名古屋駅、栄、大須）
5	グルメ・なごやめし
6	お祭り・イベント
7	コンサートや観劇などの鑑賞
8	スポーツ観戦（野球・サッカー等）
9	その他（具体的に）

① 今回の訪問で、満足されたものはありませんか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------	----	------

② 今回の訪問で、不満を感じたものはありませんか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------	----	------

③ 次回訪れてみたいものはありませんか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	（具体的に）	10	特になし
---	---	---	---	---	---	---	---	---	--------	----	------

問12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	1日帰り	2	2日間	3	3日間	4	4日間	5	5日以上
---	------	---	-----	---	-----	---	-----	---	------

問13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方へ伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

1	1泊	2	2泊	3	3泊	4	4泊以上
5	名古屋市内には宿泊しない						

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別	②年齢		
1 男	1 10～19歳	2 20～29歳	3 30～39歳
2 女	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳
	7 70～79歳	8 80歳以上	

問15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

1	ひとり（同行者なし）	2	友人・知人
3	幼児や小学生連れの家族	4	夫婦
5	家族（「3」、「4」以外）	6	団体旅行
7	修学旅行	8	その他（ ）

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力していただき、誠にありがとうございました。
この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成28年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所	4 下宿
-------	------	--------	------

問2 貴施設の平成28年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和室		洋室		合計	
室数	収容人数	室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成27年4月から平成28年3月までの宿泊客数（月別・合計）をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	28年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
28年11月	12月	29年1月	2月	3月	合計		
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間でどの国（地域）から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。（概数でも結構です）

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	マレーシア	人		人
韓国	人	英国	人		人
米国	人	ドイツ	人		人
タイ	人	フランス	人		人
シンガポール	人	オーストラリア	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体（小・中・高校など）を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 1 平成28年度、受入れた。
- 2 平成28年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
- 3 実績はないが受入れ可能。
- 4 受入れられない。

問6 問5で「1 平成28年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きます。貴施設が平成28年4月1日から平成29年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地（都道府県名）、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きます。貴施設が平成28年度に修学旅行団体を受入れたかった理由についてご記入ください。

[

]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございます。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

名古屋観光文化交流局観光交流部観光推進室

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■ 調査項目

番号	条件	内容
Q1	必須回答	過去5年以内に名古屋に何回訪れたことがありますか。
1		1回
2		2回
3		3～5回
4		6～10回
5		11回以上
6		訪れていない
サンプル数(%ベース)		

Q2	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		熱田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		東山動植物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)
18		名古屋まつり
19		にっぽんど真ん中祭り
20		名古屋おもてなし武将隊
21		その他
22		知っているものはない
サンプル数(%ベース)		

Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内に訪問した場所又は経験したものをお答えください。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		熱田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		東山動植物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)
17		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)
18		名古屋まつり
19		にっぽんど真ん中祭り
20		名古屋おもてなし武将隊
21		その他
22		訪問した場所又は経験したものはない
サンプル数(%ベース)		

Q4	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。
1		是非訪れたい
2		機会があれば訪れたい
3		訪れたいとは思わない
4		その他
		サンプル数(%ベース)

Q5	必須回答:Q4 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたいものは何ですか。
1		名古屋城
2		徳川園
3		徳川美術館
4		熱田神宮
5		リニア・鉄道館
6		トヨタ産業技術記念館
7		ノリタケの森
8		名古屋市科学館(プラネタリウムなど)
9		名古屋市美術館
10		名古屋市博物館
11		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)
12		東山動植物園
13		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)
14		大須(大須観音・大須商店街)
15		文化のみち(二葉館など)
16		有松(街並み、有松・鳴海校会館など)
17		レゴランド・ジャパン(平成29年4月開業予定)
18		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)
19		名古屋まつり
20		にっぽんど真ん中祭り
21		名古屋おもてなし武将隊
22		その他
23		訪問してみたい場所又は経験してみたいものはない
		サンプル数(%ベース)

Q6	必須回答	名古屋に観光地としての魅力を感じますか。
1		魅力を感じる
2		魅力を感じない
3		どちらともいえない
		サンプル数(%ベース)

Q7	必須回答:Q6 = 2	魅力を感じない理由は何だと思えますか。あてはまるものを3つまでお選びください。
1		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること
2		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと
3		名古屋の魅力が市民に十分知られていないこと
4		魅力ある観光施設が少ないこと
5		魅力あるイベントが少ないこと
6		魅力あるおみやげ品が少ないこと
7		交通アクセスが良くないこと
8		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)
9		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと
10		まちがきれいでないこと
11		まちに緑が少ないこと
12		その他
		サンプル数(%ベース)

Q8	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思えますか。あてはまるものをお選びください。
1		利用したことがある
2		知っていて、利用したい
3		知らなかったが、利用したい
4		知ってはいしたが、利用したいとは思わない
5		知らなかったし、利用したいとは思わない
		サンプル数(%ベース)

F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。
1		男性
2		女性
		サンプル数(%ベース)

F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。
1		20歳未満
2		20歳代
3		30歳代
4		40歳代
5		50歳代
5		60歳代
6		70歳以上
		サンプル数(%ベース)

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。
1		北海道
2		青森県
3		岩手県
4		宮城県
5		秋田県
6		山形県
7		福島県
8		茨城県
9		栃木県
10		群馬県
11		埼玉県
12		千葉県
13		東京都
14		神奈川県
15		山梨県
16		長野県
17		新潟県
18		富山県
19		石川県
20		福井県
21		岐阜県
22		静岡県
23		愛知県
24		三重県
25		滋賀県
26		京都府
27		大阪府
28		兵庫県
29		奈良県
30		和歌山県
31		鳥取県
32		島根県
33		岡山県
34		広島県
35		山口県
36		徳島県
37		香川県
38		愛媛県
39		高知県
40		福岡県
41		佐賀県
42		長崎県
43		熊本県
44		大分県
45		宮崎県
46		鹿児島県
47		沖縄県
		サンプル数(%ベース)

※調査票の条件欄について
「Q1 = 1」は、「Q1で選択肢『1』を選択している人が対象」を意味します。



名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成 28 年度)

平成 30 年 1 月発行

発 行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 ジャパンHRソリューションズ株式会社

この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

